



# **D-ILA**プロジェクター <sup>※</sup> DLA-G150CL



(レンズ別売)

はじめに

準 備

操 作

お手入れ

その他

お買い上げいただき、ありがとうございます。 ご使用の前にこの取扱説明書を よくお読みの上、正しくお使いください。 お読みになったあとは、後日調べたいときのために 保証書と一緒に大切に保存してください。 \* D-ILA®は日本ビクターの登録商標です。

# 安全上のご注意

# 「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵(マーク)が表示されています。

これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本 文をお読みください。



この絵表示(文字含む)は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うこ とが想定される内容です。十分注意してください。

この絵表示(文字含む)は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損 害が想定される内容です。十分注意してください。











● 必ずしてほしい行為(強制・

指示行為)を示す記号

電源プラグを抜く 一般的指示



感電注意

破裂注意

高温注意

#### 万一、次のような異常が発生したときは

- ●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- ●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- ●ランプが破裂したとき。
- ●プロジェクターの内部に水や物が入ってしまったとき。
- ●プロジェクターを落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。
- ●ファンがはたらかないとき。



# 転倒・落下防止の処置をしてください

地震など非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置を してください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。 詳しくは販売店にご相談ください。



·般的注意

電源プラ

グを抜く

# 設置するときの警告

● 不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不 安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒 れたりして、けがをする原因となります。



禁止

禁止

● プロジェクターの荷重に耐えられない場所 には設置しない

プロジェクターの荷重に耐えられない場所には 設置しないでください。設置場所の強度が弱い と、落ちたり、倒れたりして、けがをする原因と なります。

- 振動する場所への天吊り設置はしない 振動によりプロジェクター本体の取付部分が破 損し、落ちたり、倒れたりして、けがをする原因 となります。
- 壁や他の機器と間隔をあけて設置する 内部に熱がこもり、火災の原因となります。 次のことに注意してください。
  - ・壁や家具などから60cm以上離す

 他の機器との間隔をあける。 また、排気口からは温風が出ますので、やけどや 他の機器への損害を与える原因となります。

# 設置するときの注意

● 次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多いところ
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があ たるところ
- 熱器具の近く

また、直射日光の当たるところに置くと、キャ ビネットが変質することがあります。

● 機器との接続がすべて終わってから電源 プラグをつなぐ

コンセントに差したまま接続したりすると、感 電の原因となることがあります。また、プロ ジェクターの電源コードはプロジェクター本 体につないでから、壁のコンセントに差してく ださい。



● キャスター付きの台に載せるときは、 キャスターを固定する

キャスターをロックして動かないようにして ください。動いたり、倒れたりしてけがの原因 となることがあります。





● 専門の知識や技術のないかたは設置工事 をしない

専門の知識や技術が必要です。設置工事(天井な どへの取り付け)は必ず販売店(専門の技術者)に ご依頼ください。専門の知識や技術のないかた が行なうと、けがや感電をする原因となります。

● 指定の電源電圧(交流100∨)以外で使用 しない

表示された電源電圧以外では使用しないでく 禁止 ださい。火災・感電の原因となります。

● プロジェクターの通風孔(排気□・吸気□) をふさがない

通風孔(排気口・吸気口)をふさぐと、内部の熱 が逃げませんので、火災の原因となります。

次のことにご注意ください。

- ・押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- ・じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- ・横倒し、逆さま、あお向けにしない
- 電源コードを抜くときは壁側のコンセン トから抜く 壁側のコンセントから抜かないと感電の原因

● 移動するときは接続コード類を外す

電源プラ グを抜く

となることがあります。 電源コードは壁側のコンセントから先に抜き、 そして、プロジェクター本体側の順で抜きま す。また、抜くときは必ずプラグをもって抜い てください。



電源プラ ください。コードに傷がつくと、火災・感電の グを抜く

原因となることがあります。 また、プロジェクターを運ぶときは、バランス に気を付けて、衝撃を与えないようにしてく ださい。けがや故障の原因となることがあり ます。

コードを傷つけますので、電源プラグをコン

セントから抜き、接続コードなどをはずして



埜止









禁止







# 使用するときの警告

禁止

禁止

- ●引火・爆発の恐れのある場所では使用しない プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵 が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原 因となります。
- プロジェクター内部に物を入れない 金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落 としたりしないでください。金属類や燃えやす いものなどが入ると、火災・感電の原因となりま す。特に小さいお子様には注意してください。
- プロジェクターに水をかけない 公衆浴場、温泉、風呂場などでは使用しないでく ださい。水が入ったり、ぬれたりしないようにし 水場での 使用禁止 てください。火災・感電の原因となります。 水などの入った容器(花びん、植木鉢、コップ、化 粧品、薬品など)は、こぼれたりしますので、プロ ジェクターの上に置かないでください。 また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは 特にご注意ください。

#### ● 投写レンズをのぞかない

ご使用中(ランプ点灯中)は投写レンズを絶対に のぞかないでください。強い光が目にあたると 視力障害の原因となります。特に小さいお子様 には注意してください。

#### ● 吸気口・排気口をふさがない

光源ランプを冷却するためにファンで空気を取 り込み、排気しています。吸気口・排気口をふさ いだり、紙、布、柔らかいクッションなどを置か ないでください。内部に熱がこもり、火災や故障 の原因となります。また、光源ランプが冷却され ないと、ランプが破裂し、火災・故障・けがの原因 となります。

● 途中でランプ使用時間をリセットしない 新しいランプに交換したときのみ、ランプ使用 時間をリセットしてください。使用途中でリ セットすると寿命を越えて使用することとな り、ランプの性能が著しく低下し、破裂して火 災・けがの原因となります。



埜止

電源コードは付属品を使用する 付属品以外のコードを使用すると、火災・感電の 原因となります。

● 電源プラグやコンセントにほこりや金属が 付着したまま使用しない

ショートや発熱により、火災・感電の原因となり ます。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で ふいてください。



禁止

禁止

#### ● 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源 コードを加工したり、無理に曲げたり・ねじった り・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけ たりしないでください。電源コードを傷つける と、火災・感電の原因となります。

電源コードが切れたり、芯線が出たりしたとき は、販売店に電源コードの交換を依頼してくだ さい。そのまま使用すると火災・感電の原因とな ります。

⑦ロジェクターのキャビネットやカバーは 外さない



プロジェクター内部には電圧の高い部分があ 感電注意 り、感電の原因となります。内部の点検、修理は 販売店に依頼してください。

⑦コジェクターを改造しない 火災・感電の原因となります。



● 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない 感電の原因となります。



般的指示



水ぬれ

禁止



破裂注意



、注意

# 使用するときの注意

● プロジェクターの上に物を置かない

重いものやプロジェクター本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



投写中は排気口(ランプカバー部分)や、その周 辺部には触れないでください。高温になります ので、やけどの原因となることがあります。



禁止

禁止

● プロジェクターの上に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となる ことがあります。特に小さいお子様には注意し てください。

● 電源プラグはコンセントの根元まで確実 に差し込む



ショートや発熱により、火災や感電の原因とな 一般的指示 ることがあります。

●根元まで差し込んでもゆるみがあるコン セントには接続しない



発熱して、火災の原因となることがあります。 販売店や電気工事店にコンセントの交換を依 頼してください。

● 電源プラグはコードの部分を持って抜か ない

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、 火災・感電の原因となることがあります。 プラグの部分を持って抜いてください。

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでく ださい。感電の原因となることがあります。

ぬれ手

禁止

禁止

● 長期間プロジェクターを使用しないとき は、電源プラグを抜く 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて 電源プラ

安全のため電源プラグをコンセントから抜いて ください。



安全のため電源プラグをコンセントから抜いて ください。感電の原因となることがあります。

### ▶ 乾電池の使い方に注意する

乾電池は間違った使い方をすると、破裂したり 液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因 となることがあります。次のことにご注意くだ さい。

もし液がもれた場合は電池ケースについた液を よく拭き取ってください。万一、もれた液が身体 についたときは、水でよく洗い流してください。

- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・電池ケースのプラス(+)とマイナス(-)の表 示どおりに入れる
- ・指定された電池以外は使わない
- ・電池(電池ケース)のプラス(+)とマイナス
   (-)をショートさせない
- ・加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- ・長時間使用しないときは、電池を取り出して おく

電池を廃棄するときは、その地域の回収ルール に従ってください。

● 3年に一度はプロジェクター内部の掃除を 販売店に依頼する

プロジェクターの内部にホコリがたまったまま -使用すると、火災や故障の原因となることがあ ります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行う と、より効果的です。





グを抜く

電源プラ

グを抜く



一般的注意

警告

# ランプ交換時の警告

⑦ロジェクターを使用した直後はラン プを交換しない

ランプ(ランプユニット)を交換するときは 必ず1時間以上の冷却時間をおいてくださ い。使用直後はランプが高温になっており、 やけどの原因となります。



● 交換した古いランプ(使用済みのラン プ)は必ずガス抜き処理をする

プロジェクターから取りはずした使用済み

のランプ(ランプユニット)は必ずガス抜き

処理をしてください。ランプの内部にはキセ

たり、衝撃を与えたり、廃棄したりすると、破

ガス抜き方法については交換用のランプに 添付の説明書をよくお読みの上、正しく行 なってください。ガス抜き処理が不明なとき (または実施できないとき)は、交換ランプを お買い上げの販売店に、使用済みのランプを

ノンガスが高圧で封入されています。

裂して、けがの原因になります。

必ずご返却ください。

般的指示



● ランプを交換するときは電源コードをコ ンセントから抜く ランプ(ランプユニット)を交換するときは主

電源スイッチを切り、電源コードをコンセン トから抜いてください。電源コードを差し込 んだまま作業すると、けがや感電の原因とな ります。



グを抜く

● ランプは落下させたり、衝撃を与えたり しない

ランプ(ランプユニット)は落下させたり、衝 撃を与えないでください。特にランプのガラ ス面には衝撃を与えないでください。ランプ の内部にはキセノンガスが高圧で封入されて いますので、落下や衝撃により破裂して、けが の原因となります。







● 新しいランプのガラス面は絶対に素手 でさわったり、汚したりしない

ランプ(ランプユニット)のガラス面や金属 部分(取っ手やネジを除く)には絶対に素手 でさわらないでください。手の汚れがつき、 ランプの寿命が短くなったり、性能が著しく 低下したり、ランプが破裂したりして、故障 の原因となることがあります。

禁止

● ガス抜き処理した使用済みのランプは 産業廃棄物として廃棄する 使用済みのランプ(ランプユニット)は必ず ガス抜き処理をして、産業廃棄物として廃 棄するか、交換用のランプをお買い上げの 販売店にご返却ください。必ずガス抜きし て、処理してください。破裂して、けがの原 因となることがあります。



# 素子の焼き付きについて

● 静止画像を長時間映したり、異常に明るい画 像は映さない

高輝度な画面や高コントラストな画面を持つ映像 などは映さないでください。素子に画像が焼き付く ことがあります。

特にビデオゲームやコンピュータープログラム画面などの画像には注意してください。

通常のビデオ再生映像などでは問題ありません。

# 見る場所(部屋の明るさ)について

#### ● 部屋の明るさは

直射日光や照明が画面に直接あたらないように、カーテン などでさえぎってください。部屋の明るさは、暗くするこ とにより、より良い映像でご覧いただけます。

- 連続して長時間、画面を見ない 連続して長い時間、画面を見ることは目を疲れさせます のでよくありません。ときどき目を休めてください。
- 設置状況や環境によって画像が揺れるときは 使用しないでください。視力低下の原因となります。

# <u>お手入れのしかた</u>

# ● キャビネットの汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいと きは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って ふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

- キャビネットが変質したり、傷付いたり、塗料がは げることがありますので、次のことに注意してくだ さい。
  - ・堅い布でふかない
  - ・強くふかない
  - ・シンナーやベンジンでふかない
  - ・殺虫剤など揮発性のものをかけない
  - ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

#### ● レンズの汚れは

市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネ やカメラなどの清掃用)でおこなってください。 液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面の コーティング膜がはがれる原因となることがあります。 レンズ表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたり しないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置で す。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受 信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

#### 画面モード切換機能利用時のお願い

●このプロジェクターは、画面モード切換機能(アスペクト比やリサイズ)を備えています。テレビ番組 等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ま す。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

●プロジェクターを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切換機能(アスペクト比やリサイズ)を利用して、画面の加工を行いますと、著作権法上で保護されている著作権を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

付属品を確認する

本機には次の付属品が梱包されています。付属品をご確認ください。

万一、不足しているものがございましたら、お手数でもお買い上げの販売店にご連絡ください。



リモコン(RM-M160)



単3形乾電池(x2) (動作確認用)



電源コード (約2.5m)



パソコン接続ケーブル(約2m) (D-sub 3列15ピン)



マッキントッシュ用 変換アダプター



映像接続ケーブル(約2m) (RCAピンプラグ)



フェライトコア(x2)



BNC変換プラグ



六角レンチ



# もくじ

# はじめに

準備





その他

女王上のご注息	
( 「 「 に に に に に に に に に に に に に に に に に	
古時のあるえとはたらさ	
操作パネル12	
操作パネルのインジケーター表示について	
入出力端子14	
リモコン	
電池の人们かた	
設置するときの注音 19	
の値することの圧急	
設置(調整・設定)時のお願い	
天吊り切換ネジの設定19	
画面サイズと投写距離	
リモコンの操作範囲	
レノ人ソノトの設定	
<b>按税について</b> 入力可能な信号の種類 25	
巻器との接続 27	
電源コード(付属)の接続	
<u>甘木</u> 恐宁 200	,
<b>空午設た</b>	
基本操作	
1.電源を入れる	
2.投影する映像を選ぶ	
3.ズーム機能つきのレンズを装着しているとき:	
人一ム(凹面サイ人)を調整する	
4.フォーカス(庶県)を調整する	
よく使う便利な機能の操作 37	
映像を拡大する	
映像を一時的に消す37	
映像を静止する	
スクリーンサイズを変更する	
メニューで行う調整と設定	
メニューの階層と構成	
メニュー場作の千順 42	
メニューの内容 40	
1メインメニュー	
3設定メニュー	
44年1月11日	,
し 日 市 ノー ユー	
<ul> <li>アリーアリーアリーマンジョン設定画面</li> <li>47</li> </ul>	
□, 「ジジゴジ は)と口田	
回キーストーン設定画面	
11ランプコントロール設定画面	
22メインメニュー:インフォメーション画面48	
13   15    15   15   15   15   15   15	
ヒューズ交換のしかた	
ランフ交換のしかた	
元源フノノとフノノ使用時間について	
フノノX狭のナ順	
フィルターの掃除と交換方法	
か時かけのし日ったに/しーゴリシー ニッシング	
政障/フル4?C応つにり(トフノルンユーナイノノ)	
ローニングインジケーター表示 58	
保証とアフターサービス	
主な仕様	

# 本体

## 前面·上面·右側面



背面·左側面



# 準 備

#### 1 レンズシフトカバー

レンズシフト機構付きのレンズを装着したとき、開けてシ フトノブを出します。詳しくはレンズシフト機構付きレン ズの取付説明書をご覧ください。

#### 2 操作パネル

詳しくは「操作パネル」をご覧ください。 (参照ページ: 12)

3 排気口

冷却ファン吹き出し口で、温風が吹き出します。

#### ④ キャリングハンドル

本機を持ち運ぶときに起こして使います。



- 運ぶときは、衝撃を与えないでください。また、バラン スに気をつけてください。
- 光源ランプ点灯中や、冷却ファン動作中は、持ち運ばないでください。けがの原因となることがあります。

#### 5 電源入力(AC IN~)端子

電源入力(AC IN~)端子です。付属の電源コードを接続します。(参照ページ:31)

#### 6 ヒューズホルダー

12A 250Vのヒューズが入っています。(電源保護用) 交換するときには12A 250Vの同じヒューズをお求めく ださい。ご不明なときはお買い上げの販売店にお問い合わ せください。(参照ページ: 49)

#### ⑦ MAIN POWER(主電源)スイッチ

主電源スイッチです。このスイッチを ON にすると、スタ ンバイ状態になり、操作パネルのSTAND BYインジケー ターが点灯します。(参照ページ: 32、34) ON 【1】:主電源が「入(ON)」になります。 OFF【〇】:主電源が「切(OFF)」になります。

#### ⑧ フロント可動フット(上下角調整用)

伸ばすと最大で+7°まで調整できます。 (参照ページ:18)

#### 9 レンズ取り付け部

本機にはレンズが付いていません 別売のレンズを取り付けます。 GL-M2910 電動フォーカス短焦点レンズ (投写比 1:1) GL-M2915S 電動フォーカス短焦点レンズ

- (投写比1.5:1、マニュアル垂直シフト 機構付き) GL-M2920Z 電動ズーム・電動フォーカスレンズ
- (投写比 2:1~3:1)
- GL-M2930SZ 電動ズーム・電動フォーカス長焦点レン ズ (投写比 2.9:1~5.5:1、マニュアル 垂直シフト機構付き)

```
取付は設置を依頼した販売店(専門の技術者)またはビク
ターサービス窓口にご相談ください。
```

#### 10 レンズキャップ

別売のレンズに付属のレンズキャップです。 本機をご使用にならないときには、レンズの汚れ防止の ためキャップをつけておくことをおすすめします。 (参照ページ:31)

#### 111 リモコン受光部

リモコンで操作するときは、リモコンをここに向けて操作します。操作可能な距離と範囲については「リモコンの操作範囲」(24ページ)をご覧ください。

#### 12 入出力端子

詳しくは「入出力端子」をご覧ください。 (参照ページ:14)

#### 13 リア可動フット(水平調整用)

出荷時には最も縮めた位置になっています。本機が水平になるように、回して調整してください。 水平状態から +1.5°から-1.5°の範囲で調整できます。 (参照ページ: 18)

#### 14 **吸気口**

背面に設けられた冷却用吸気口です。 吸気の妨げとなるようなものでふさがないでください。 内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあり ます。

#### 15 吸気口(フィルター)

本機では、光源ランプの冷却に、ここからファンで空気を 取り込んでいます。

この吸気口をふさいだり、本機の周囲に吸気や排気の妨げ となるようなものをおくと、内部に熱がこもり、火災の原 因となることがあります。

詳しくは「設置するときの注意」(18ページ)をご覧ください。

# ▶→お願い

●紙、布、柔らかいクッションなどを置くと、吸い込まれるのでご注意ください。 吸気口をふさがないでください。ふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

 ● フィルターは定期的に清掃してください。詳しくは 「フィルターの掃除と交換方法」(53ページ)をご覧くだ さい。 フィルターにゴミなどが付着すると冷却効果を妨げ、 ウ邨に熱がまたり、火災や地障の原用となることがあ

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあ ります。

#### 16 光源ランプ交換口

光源ランプを交換するときは「ランプ交換のしかた」 (50ページ)をご覧ください。

17 リア固定フット

#### 18 天吊り切換ネジ

本機を逆さ天吊り設置(上下・左右反転)でお使いになると きは、この「天吊り切換ネジ」を回して切り換えます。 色むら(シェーディング)が補正されます。 詳しくは「天吊り切換ネジの設定」(19ページ)をご覧くだ さい。

# 操作パネル



#### 1 STAND BY (スタンバイ)インジケーター

- 点灯 : スタンバイモードのとき。
- 点滅 : クールダウンモードのとき。
- 2 OPERATE(オペレート)インジケーター
  - 点灯 : 本機が動作(投写)状態のとき。

#### ③ OPERATE(オペレート) ボタン

本機がスタンバイモードのとき1秒以上押すと、本機の電源が入り、オペレートモードになります。 (参照ページ:32、34) もう1度1秒以上押すとクールダウンモードになり、その 後スタンバイモードになります。(参照ページ:36)

\* ランプ点灯後の約1分間、OPERATEボタンは働きません。1分以上経過してから操作してください。

#### 4 PC(ピーシー)ボタン

本機のPC 1、PC 2またはDVI入力端子に接続している機器を選ぶときに使います。(参照ページ:35)

#### 5 VIDEO(ビデオ)ボタン

本機のAV IN端子(Y/C、VIDEOまたはY、PB/B-Y、PR/R-Y入力端子)に接続しているビデオなどの映像機器を選ぶ ときに使います。 (参照ページ:34)

⑥ MENU(メニュー)ボタン

メインメニューを表示するときに押します。メニューが 表示されているときにもう1度押すと、メニューが消えま す。(参照ページ:42)

#### ⑦ ENTER(エンター)ボタン

つぎの階層メニューを表示するときに押します(例えば、メ インメニューからサブメニューを表示するとき)。また、メ ニュー画面の項目で「ENTER」選択指示の表示がされてい るときや、「オールリセット」メニューの選択を決定すると きなどに押します。(参照ページ:42)

#### ⑧ カーソル(◀/▶/▲/▼)ボタン

メインメニュー表示中に、調整する項目を選んだり、サブメ ニュー表示中に設定を変更・調整するときに使います。 (参照ページ:42)

#### 9 EXIT(エグジット)ボタン

ひとつ前の階層メニューに戻るとき押します(例えば、サブ メニューからメインメニューを表示するとき)。また、メイ ンメニューを表示しているときに押すと、メニューを消す ことができます。(参照ページ:42)

#### 10 PRESET(プリセット)ボタン

キーストーンまたはデジタルズームのリセットボタンとして働きます。キーストーンまたはデジタルズームのいずれかを調整しているとき(画面上にその表示が現れているとき)、調整した設定値を出荷時の設定にリセットします。 (参照ページ:42)

#### 11 KEYSTONE(キーストーン)ボタン

スクリーンに投写している映像が台形状に歪んでいる台 形歪みを、補正(調整)するときに使います。 (参照ページ:39)

#### 12 HIDE(ハイド)ボタン

映像を一時的に消すときに使います。もう1度押すと映像 が再び表示されます。(参照ページ:38)

#### 13 LAMP(ランプ)インジゲーター

ランプ寿命を点灯および点滅で表示します。表示するときに 使われる積算時間はランプコントロール設定(参照ページ: 32)によって変わります。

通常の使用設定(ノーマル):

- 点灯 : ランプの使用時間が、およそ900時間を超 えたとき。予備の光源ランプを準備してくだ さい。
- 点滅 : ランプ使用時間(およそ1000時間)を超過 したとき。予備の光源ランプと交換してくだ さい。(参照ページ: 50、52)
- ランプコントロール設定(LPCまたはLOC):
  - 点滅 : ランプ使用時間(およそ1900時間)を超過 したとき。予備の光源ランプと交換してくだ さい。(参照ページ: 50、52)

#### 14 TEMP(テンプ)インジケーター

点滅 : 本機内部の温度が異常に高くなったとき。 (参照ページ: 13、58)

# 操作パネルのインジケーター表示について

本機は、スタンバイモード、オペレートモード、クールダウンモードの他にも、動作状態をインジケーターの組み合わせで表示します。



#### クールダウンモードについて

クールダウンモードとは、投写終了後に一定時間(約120秒間)、加熱したランプを冷却する状態のことです。この機能は、加熱したランプの熱で本機内部が変形、破損することを防止したり、ランプの破裂やランプの寿命が短くなることを防ぐためのものです。

クールダウンモード中は、STAND BYインジケーターが点滅します。また、OPERATEボタンを押しても働きません。 クールダウンモードが終わると、自動的にスタンバイモードになります。

# ▶→お願い

 クールダウンモード中はMAIN POWER(主電源)スイッ チを切らないでください。また、クールダウンモード中は 本機を立てたり横にしたりして吸気口・排気口をふさが ないでください。 準備

# 入出力端子



### 1 PC (ピーシー) 1入力端子 [D-sub 3列15ピン]

パーソナルコンピューター(パソコン)信号専用(RGBの映像信号と同期信号)の入力端子です。

パソコンのディスプレイ出力端子などと接続します。接続 するコンピューターがマッキントッシュのときは、付属の マッキントッシュ用変換アダプターをご使用ください。 (参照ページ:30)

\* コンピューター系の信号を入力したとき、同期信号の入力が複合 同期信号または、G on sync信号のときは、画面最上部に曲がり が発生することがあります。このようなときは、垂直同期(V)信 号、水平同期(H)信号の分離同期信号で入力してください。

### 2 PC OUT端子 [D-sub 3列15ピン]

PC1またはPC2入力端子に接続している機器などのモニ ター出力端子です。

この端子からは、スクリーンに投写されている信号が出力 されます。ディスプレイの入力端子などへ接続します。 (参照ページ:30)

#### ③ DVI端子 [DVI-D 3列24ピン]

デジタルRGBVH入力端子です。 MachintoshのADCには対応しておりません。 (参照ページ:28)

#### ④ PC(ピーシー)2入力端子 [BNC x 5]

アナログRGB信号、垂直同期(V)信号、水平同期(H)信号/ 複合同期(Cs)信号の入力端子です。アナログRGB信号出 力を持つ機器を接続できます。

- \* 外部同期信号の入力は自動検出します。 H/V信号または、Cs信号が検出されると、外部同期に切り換わ ります。優先順位はH/V>Csの順です。
- \* コンピューター系の信号を入力したとき、同期信号の入力が複 合同期信号または、G on sync信号のときは、画面上部に曲が りが発生することがあります。このようなときは、垂直同期(V) 信号、水平同期(H)信号の分離同期信号で入力してください。

5 Y、P<sub>B</sub>/B-Y、P<sub>R</sub>/R-Y入力端子 [BNC]
 DVDプレーヤーなどのコンポーネント出力端子を接続します。(参照ページ: 27)

# ⑥ Y/C(ワイ/シー)入力端子 [ミニDIN4ピン]

Y/C(S映像)信号の入力端子です。ビデオデッキなどのS映像(Y/C)出力端子などと接続します。(参照ページ:27)

# ▶→お願い

S映像ケーブルには、付属のフェライトコアを取り付けて ください。(参照ページ: 27)

#### ⑦ VIDEO(ビデオ)入力端子 [BNC]

複合映像(コンポジットビデオ)信号の入力端子です。ビデ オデッキなどの映像出力端子などと接続します。 (参照ページ:27)

#### ⑨ RS-232C端子 [D-sub 9ピン]

RS-232Cインターフェース規格の端子です。 入力と出力があり、外部にパーソナルコンピューターを接 続して、本機を操作することができます。(参照ページ: 29)

\*詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

#### ⑧ REMOTE(リモート)端子 [ステレオミニジャック]

赤外線リモコン受光部延長ユニットなどを接続できます。 \* 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

# ▶→お願い

リモートケーブルには、付属のフェライトコアを取り付け てください。(参照ページ: 29)

# リモコン



#### 1 リモコン発光部

(参照ページ: 24)

#### 2 OPERATE(オペレート)ボタン

本機がスタンバイモードのとき1秒以上押すと、本機の電源 が入り、オペレートモードになります。(参照ページ: 32、34) もう1度1秒以上押すと電源が切れ、クールダウンモードと なり、その後スタンバイモードになります。 (参照ページ: 36)

\* ランプ点灯後の約1分間、OPERATEボタンは働きません。 1分以上経過してから操作してください。

#### ③ ビデオ切換えボタン

本機の入力端子に接続しているビデオなどの機器を選ぶ ときに使います。

- **Y/C:** AV INのY/C入力端子に接続している機器 を選ぶとき押します。
- VIDEO:AV INの VIDEO入力端子に接続している<br/>機器を選ぶとき押します。
- **COMP:** AV INのY、P<sub>B</sub>/B-Y、P<sub>R</sub>/R-Y入力端子に接続している機器を選ぶとき押します。

#### 4 ZOOM(ズーム)T/Wボタン

ズームボタンとして働きます。(参照ページ:37)

#### 5 FOCUS(フォーカス)+/ーボタン

フォーカスボタンとして働きます。(参照ページ:35)

### ⑥ MENU(メニュー)ボタン

メニューを表示するときに押します。メニューが表示され ているときにもう1度押すと、メニューが消えます。 (参照ページ: 42)

#### ⑦ カーソル (▲▼◀►) ボタン

メインメニューの表示中に、調整する項目を選んだり、サブ メニュー表示中に設定を変更、調整するときに使います。 (参照ページ:42)

#### ⑧ ENTER(エンター)ボタン

つぎの階層メニューを表示するときに押します(例えば、メ インメニューからサブメニューを表示するとき)。また、メ ニュー画面の項目で「ENTER」選択指示の表示がされてい るときや、「オールリセット」メニューの選択を決定すると きなどに押します。(参照ページ:42)

## リモコン(つづき)



9 EXIT(エグジット)ボタン

ひとつ前の階層メニューに戻るときに押します(例えば、サ ブメニューからメインメニューを表示するとき)。また、メ インメニューを表示しているときに押すと、メニューを消 すことができます。(参照ページ:42)

#### 10 PRESET(プリセット)ボタン

キーストーンまたはデジタルズームのリセットボタンとして働きます。キーストーンまたはデジタルズームのいずれかを調整しているとき(画面上にその表示が現れているとき)、調整した設定値を出荷時の設定にリセットします。(参照ページ:42)

#### 11 KEYSTONE(キーストーン)ボタン

スクリーンに投写している映像が台形状に歪んでいる台形 歪みを補正(調整)するときに使います。(参照ページ:39)

12 DIGITAL ZOOM (デジタルズーム) T/Wボタン

画面の映像を拡大したいときに使います。最大約4倍まで 拡大表示できます。(参照ページ:31)

\* デジタルズームで拡大した画面の映像は画質が粗くなります。

13 PC(ピーシー)切換えボタン

本機の入力端子に接続しているコンピューターなどの機 器を選ぶときに使います。

- PC1:
   PC1入力端子に接続している機器を選ぶ

   とき押します。
- PC2:
   PC 2入力端子に接続している機器を選ぶ

   とき押します。(参照ページ:30)

**DVI:** DVI入力端子に接続している機器を選ぶとき押します。

#### 14 SCREEN(スクリーン)ボタン

映像を投写するスクリーンサイズを「4:3」または「16:9」 に変更します。(参照ページ: 38、45)

#### 15 QUICK ALIGN. (クイックアライメント)ボタン

投写されている映像を自動調整するときに使います。映像 画面の「水平・垂直位置」や「横方向のサイズと表示領域」な どが自動調整されます。自動調整中は"Quick Alignment" と画面に表示され、終わると表示は消えます。 (参照ページ:39)

\* クイックアライメント機能はPC 1またはPC 2入力端子から入力した信号にのみ働きます。VIDEO IN端子 (VIDEO、Y/CまたはY、 PB/B-Y、PB/R-Y入力端子)から入力した信号には働きません。

#### 16 FREEZE(フリーズ)ボタン

投写している映像を、メモリーに取り込んで静止画にする ことができます。静止画にしたいところでボタンを押すと、 静止画になります。もう1度押すと、静止画が解除され、元 に戻ります。(参照ページ:38)

#### 17 HIDE(ハイド)ボタン

映像を一時的に消すときに押します。もう1度押すと映像 が再び表示されます。(参照ページ:38)

# 電池の入れかた

リモコンに乾電池を入れてください。また、リモコンが正常に働かなくなったら、乾電池を交換してください。

# 1 裏ぶたを開ける

裏ぶたを押しながら矢印の方向にスライドさせます。



# 2 乾電池を入れる

付属の乾電池(単3形)2本を(+)、(-)の表示どおりに入 れます。



# 乾電池の使いかたの注意



電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がも れて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となること があります。

- 次のことにご注意ください。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
   ・乾電池は種類によって特性が異なるので種類の違
- う電池は混ぜて使わない。 ・電池ケースのプラス(+)とマイナス(-)の表示ど おりに入れる。
- ・乾電池を入れるときは、ショートを防ぐため、必ず
   電池のマイナス(-)側を先に入れる。
- ・乾電池を火の中へ入れたり、充電したりしない。
- ・指定された電池以外は使わない。
- · 長期間使用しないときには、乾電池を取り出しておく。

#### 電池の寿命は

電池は普通の使いかたで、約6か月から1年間使えますが、付属 の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作し にくくなったら、新しい乾電池に交換してください。

#### 液漏れについて

乾電池が消耗して使えなくなったときは、すぐに取りだして交換してください。

そのままにしておくと液漏れの原因になったり、液漏れが故障 の原因となることがあります。

また、漏れた液が肌に触れたときなどは、布で拭き取ります。そのままにしておくと、肌が荒れる原因となることがあります。

# 3 裏ぶたを閉める

裏ぶたを「カチッ」という音がするまで矢印の方向にスラ イドさせます。



# 設置するときの注意

本機を設置するときには、次のことをよくお読みになって設置してください。また、設置の前には電源コードを本機に接続しないでください。



# 最低限必要な空間



本機を密封したり、吸気口や排気口をふさぐ ような覆いやカバーを使わないでください。 また、設置のときは本機の周囲に十分なス ペースを確保してください(左図参照)。ラッ クなどに入れてお使いになるときは、囲った 内部が外気と同じ温度になるよう空調をおこ なってください。

### 本機での傾き調整

プロジェクター本体での上下角、水平角を調整してください。

■上下角の調整範囲





フットレバーをはなした位置で固定されます。

#### ■水平角の調整範囲



水平角の調整のしかた 本機を持ち上げて、リア可動 フットを回すと、脚が伸びます。 (リアのもう一方のフットは 調整できません。)



# プロジェクターとスクリーンの設置

プロジェクターとスクリーンは直角に設置してください。(図はシフト量50%シフトの例です。)

■左(または右)から見たとき





● キーストーン補正により台形歪みを補正できます。 (参照ページ:33)





# ▶→お願い

- オプションメニューの「上下反転」機能を変更したときは、 つぎのリセット操作が必要となります。変更したときは、必 ず実施してください。
  - 1. オプションメニューの「上下反転」機能を変更する。
  - 2. OPERATEボタンで、本機の電源を1度切る(スタンバ イモードにする)。
  - 3. OPERATEボタンで、本機の電源を再度入れ直す。
- フォーカスの調整は、30分以上投写してからおこなって ください。

#### 天吊り切換ネジの設定

本機を逆さ天吊り状態(上下・左右反転)でお使いになる ときには、この「天吊り切換ネジ」を回して切り換えます。 色むら(シェーディング)が補正されます。 再度、据え置き状態でお使いになるときには、「天吊り 切換ネジ」を回して初期位置(工場出荷位置)に戻して ください。プラス(+)ドライバー(軸の長さ30mm以 上)をお使いください。「天吊り切換ネジ」は図に示す位 置の孔の中にあります。

#### [逆さ天吊り設置(上下・左右反転)でお使いになるとき]

- ■「天吊り切換ネジ」を反時計方向いっぱいに(ネジが空回 りするまで)回してください。
- [再度、据え置き設置でお使いになるとき]
  - ■「天吊り切換ネジ」を時計方向いっぱいに(ネジが締め付けられるまで)回してください。



# 天吊り設置についての注意

注意

設置工事は専門の知識や技術が必要です。

設置工事(天井などへの取り付け)は必ず販売店(専門の技術者)にご依頼ください。

#### 画面サイズと投写距離

本機にはレンズが付いていません。別売のオプションレンズから投写距離や設置条件などに応じて選択してください。 レンズの取付など、設置工事は必ず販売店(専門の技術者など)にご依頼ください。

レンズの型名	機能能
GL-M2910	リア投写用電動フォーカス短焦点レンズ (投写比 1:1)、あおり量0%
GL-M2915S	電動フォーカス短焦点レンズ (投写比 1.5:1)、電動画角調整2%ズーム、マニュアル垂直シフ
	ト機構付き、あおり量30%~55%
GL-M2920Z	電動ズーム・電動フォーカスレンズ (投写比 2:1~3:1)、あおり量50%
GL-M2930SZ	電動ズーム・電動フォーカス長焦点レンズ (投写比 2.9:1~5.5:1)、マニュアル垂直シフト機
	構付き、あおり量30%~55%

#### 

#### ■ スクリーンの設置について

- シフト量(あおり量)が50%シフトのレンズでスクリーンを設置するときは、レンズの中心線が投写画面の下端にな。 るようにしてください。 また、投写画面位置を上下方向に約30%から約55%の間でシフトできる(マニュアル垂直シフト機構付き)レンズ のときは、シフト量(あおり量)が50%シフトのとき、レンズの中心線が投写画面の下端になるようにします。 シフト量(あおり量)が0%シフトのとき、レンズの中心線が投写画面の中心になるようにします。
- 画面サイズを調節するときは、アスペクト比4:3の画面で行ってください。 本機では、アスペクト比4:3の画面の横幅を基準にして、アスペクト比16:9の画面を投写します。 このめた画面対角線の長さは4:3の画面に対して約91.8%になります。
- ジ:21~23)
- キーストーン補正をすると画面が小さくなります。(参照ページ:39)



#### ■ 投写画面サイズと投写距離の関係表

記載している距離と投写画面サイズは、あくまでも目安です。設置するときの参考としてご覧ください。

GL-M2910 プロジェクションレンズ

投写画面サイズ		r	۲. K	と写距離
(対角線の	長さ	)	アスペクト比4:3画面のとき	アスペクト比16:9画面のとき
36.7型	(約	93cm)		約 0.77m
40型	(約	102cm)	約 0.77m	約 0.84m
50型	(約	127cm)	約 0.97m	約 1.06m
60型	(約	152cm)	約 1.17m	約 1.28m
70型	(約	178cm)	約 1.38m	約 1.51m
80型	(約	203cm)	約 1.58m	約 1.73m
90型	(約	229cm)	約 1.79m	約 1.95m
100型	(約	254cm)	約 1.99m	約 2.17m
110型	(約	279cm)	約 2.20m	約 2.40m
120型	(約	305cm)	約 2.40m	約 2.62m
130型	(約	330cm)	約 2.60m	約 2.84m
140型	(約	356cm)	約 2.81m	約 3.06m
150型	(約	381cm)	約 3.01m	約 3.29m
160型	(約	406cm)	約 3.32m	約 3.51m
170型	(約	432cm)	約 3.42m	約 3.73m
180型	(約	457cm)	約 3.62m	約 3.95m
190型	(約	483cm)	約 3.83m	約 4.17m
200型	(約	508cm)	約 4.03m	

投写画面サイズ		1	<b>没写距離</b>
(対角線の	の長さ)	アスペクト比4:3画面のとき	アスペクト比16:9画面のとき
55型	(約139.7cm)		約 1.83m
60型	(約152.4cm)	約 1.76m	約 1.92m
65型	(約165.1cm)	約 1.91m	約 2.08m
70型	(約177.8cm)	約 2.06m	約 2.25m
75型	(約190.5cm)	約 2.22m	約 2.41m
80型	(約203.2cm)	約 2.37m	約 2.58m
85型	(約215.9cm)	約 2.52m	約 2.75m
90型	(約228.6cm)	約 2.67m	約 2.91m
95型	(約241.3cm)	約 2.83m	約 3.08m
100型	(約254.0cm)	約 2.98m	約 3.24m
105型	(約266.7cm)	約 3.13m	約 3.41m
110型	(約279.4cm)	約 3.28m	約 3.58m
115型	(約292.1cm)	約 3.43m	約 3.74m
120型	(約304.8cm)	約 3.59m	約 3.91m
125型	(約317.5cm)	約 3.74m	約 4.07m
130型	(約330.2cm)	約 3.89m	約 4.24m
135型	(約342.9cm)	約 4.04m	約 4.40m
140型	(約355.6cm)	約 4.19m	
145型	(約368.3cm)	約 4.35m	
150型	(約381.0cm)	約 4.50m	

準 備

\*本機は画面サイズの大きさを約±2%微調できます。上記表は±0%(標準)での値です。

#### ■ 投写画面サイズと投写距離の関係表

記載している距離と投写画面サイズは、あくまでも目安です。設置するときの参考としてご覧ください。

GL-M2920Z プロジェクションレンズ

投写画面	ョサイズ				
(対角線	の長さ)	アスペクト比4:3画面のとき	アスペクト比16:9画面のとき		
		W(ワイド端)~T(テレ端)	W(ワイド端)~T(テレ端)		
40型	(約 101.6cm)	~	~ 約 2.60m		
42型	(約 106.7cm)	~ 約 2.51m	~ 約 2.73m		
50型	(約 127.0cm)	~ 約 2.97m	~ 約 3.23m		
60型	(約 152.4cm)	約 3.55m	約 2.59m ~ 約 3.86m		
70型	(約 177.8cm)	約 2.77m ~ 約 4.13m	約 3.00m ~ 約 4.49m		
80型	(約 203.2cm)	約 3.15m ~ 約 4.70m	約 3.42m ~ 約 5.12m		
100型	(約 254.0cm)	約 3.91m ~ 約 5.86m	約 4.25m ~ 約 6.37m		
150型	(約 381.0cm)	約 5.82m ~ 約 8.75m	約 6.33m ~ 約 9.52m		
200型	(約 508.0cm)	約 7.72m ~ 約11.63m	約 8.41m ~ 約12.66m		
240型	(約 609.6cm)	約 9.25m ~ 約13.94m	約 10.07m ~ 約 15.18m		
250型	(約 635.0cm)	約 9.63m ~ 約14.52m	約 10.48m ~ 約 15.81m		
300型	(約 762.0cm)	約11.54m ~ 約17.40m	約 12.56m ~ 約 18.95m		
310型	(約 787.4cm)	約11.92m ~ 約17.98m	約 12.98m ~ 約 19.58m		
320型	(約 812.8cm)	約 12.30m ~ 約 18.56m	約 13.39m ~		
340型	(約 863.6cm)	約 12.68m ~ 約 19.71m	約 14.22m ~		
350型	(約 889.0cm)	約13.44m ~	約 14.64m ~		
400型	(約 1016.0cm)	約 15.35m ~	約 16.72m ~		
450型	(約 1143.0cm)	約17.26m ~	約18.79m ~		
470型	(約 1193.8cm)	約18.02m ~	約 19.62m ~		
480型	(約 1219.2cm)	約18.40m ~	~		
500型	(約 1270.0cm)	約19.17m ~	~		
521型	(約 1323.3cm)	約 19.97m ~	~		

#### ■ 投写画面サイズと投写距離の関係表

記載している距離と投写画面サイズは、あくまでも目安です。設置するときの参考としてご覧ください。

GL-M2930SZ プロジェクションレンズ

投写画面	面サイズ	投写距離			
(対角線の長さ)		アスペクト比4:3画面のとき	アスペクト比16:9画面のとき		
		W(ワイド端)~T(テレ端)	W(ワイド端)~T(テレ端)		
40型	(約 101.6cm)	~ 約4.52m	~ 約 4.91m		
60型	(約 152.4cm)	~ 約6.72m	~ 約 7.31m		
70型	(約 177.8cm)	~ 約7.82m	約 4.52m ~ 約 8.51m		
80型	(約 203.2cm)	約4.74m ~ 約8.93m	約 5.16m ~ 約 9.71m		
100型	(約 254.0cm)	約5.90m ~ 約11.13m	約 6.42m ~ 約 12.12m		
150型	(約 381.0cm)	約8.80m ~ 約16.64m	約 9.58m ~ 約 18.12m		
200型	(約 508.0cm)	約11.70m ~ 約22.15m	約 12.73m ~ 約 24.13m		
240型	(約 609.6cm)	約14.01m ~ 約25.56m	約 15.26m ~ 約 28.93m		
250型	(約 635.0cm)	約14.59m ~ 約27.67m	約15.89m ~		
270型	(約 685.8cm)	約15.75m ~ 約29.87m	約17.15m ~		
280型	(約 711.2cm)	約16.33m ~	約17.78m ~		
300型	(約 762.0cm)	約17.49m ~	約19.05m ~		
350型	(約 889.0cm)	約20.39m ~	約 22.20m ~		
400型	(約 1016.0cm)	約23.29m ~	約 25.36m ~		
470型	(約 1193.8cm)	約27.34m ~	約 29.78m ~		
480型	(約 1219.2cm)	約27.93m ~	~		
500型	(約 1270.0cm)	約29.08m ~	~		
510型	(約 1295.4.cm)	約29.66m ~	~		

### リモコンの操作範囲

リモコンの操作可能な距離は、直接受信で約10mです。また、スクリーンなどで反射させて使用することもできますが、このときの本体とスクリーンの距離Aとリモコンとスクリーンの距離Bの合計が約10m以内になるようにしてください。 また、リモコンを操作可能な角度は、左右15°、上下15°です。

#### ■ ワイヤレスリモコンとして使うとき

ご使用になるスクリーンの種類によって、リモコン信号の反 射する効率が異なる為、操作できる範囲や距離が短くなるこ とがあります。



#### リモコンが正しく働かない、操作できないときは

リモコンの電池が消耗していると、動作が不安定になったり、働かなかったり、誤動作することがあります。新しい電池に 交換してください。

# レンズシフトの設定

装着するレンズにレンズシフト機能があるときは、投写画面位置を上下方向にシフト設定することができます。 設置状態(デュアルスタック対応)などにより、必要なときは調整してください。 シフト機構付きレンズの場合、調整できるシフト範囲(あおり量)は、30%~55%です。

1「シフトロック固定ボルト」をゆるめる。

付属の六角レンチでゆるめます。

2 「レンズシフトつまみ」を回し、投写画面の位置(シフト量)を調整する。

右に回す:上方向にシフトします。 左に回す:下方向にシフトします。

3「シフトロック固定ボルト」を締める。

付属の六角レンチで締めます。



#### 入力可能な信号の種類

本機には次のような信号を入力することができます。

#### ■ビデオ信号 -

(1) カラー方式の対応

カラー方式 入力端子	NTSC	NTSC4.43	PAL	SECAM
VIDEO	$\bigcirc$	0	0	0
Y/C	0	()*1	0	
Y,Pb/B-Y,Pr/R-Y	⊜*2	⊜*2	⊜*2	⊜*2
G、B、R、H/Cs、V	⊜*2	⊜*2	⊜*2	○*2

\*1: Y/C出力があれば、対応します。

\*2: コンポーネント信号 (Y、PB、PR/Y、B-Y、R-Y/G、B、R、H/Cs、V) は各カラー方式の信号タイミング(同期、映像期間)に準拠していることを意味しています。カラー方式は便宜的に使用しています

#### (2) 倍密(\*3)、ハイビジョン信号への対応

入力端子	NTSC *4	PAL *5	ハイビジョン信号
Y、Pb/B-Y、Pr/R-Y	0	0	0
G、B、R、H/Cs、V	0	0	0

\*3:フィールド当たりの走査線数の密度が倍の信号。

\*4: 水平走査周波数31.5kHzの信号に対応します。NTSCはラインダブラー(別売:斡旋商品)などで倍密化します。フ ルスペックのデコードされたワイドクリアビジョン信号や、525Pプログレッシブ信号にも対応可能です。

\*5:水平走査周波数33.5kHzの信号に対応します。PALはラインダブラー(別売:斡旋商品)などで倍密化します。

#### (3) DTVフォーマット信号への対応

DTVフォーマット信号(480i、480p、720p、1080i信号)は、Y、PB/B-Y、PR/R-Y、RGB、H/Cs、V入力端子に対応します。

#### ■コンピューター信号 --

● PC 1、PC 2 (G、B、R、H/Cs、V)またはDVIの入力端子に入力することができます。

#### 次の走査周波数内の信号が入力できます。

水平走查周波数: 15 kHz ~105 kHz 垂直走查周波数: 50 Hz ~ 100 Hz

#### また、接続するコンピューターが次の条件にあてはまるかご確認ください。

#### ・接続するコンピューターに映像信号の出力ポートがある。

接続するコンピューターの説明書で、映像信号を出力させるポートが付いているか確認してください。 映像信号を出力させるポートは、「RGBポート」「モニターポート」「ビデオポート」などと呼ばれています。 コンピューターとモニターが一体型のタイプや、ノートパソコンによっては外部出力ポートを別途購入しなければな らない場合があります。また、外部出力ポートが取り付けられない場合があります。

#### ・本機の電源投入は、必ずコンピューターの電源投入前に行う。

電源投入は本機、コンピューターの順番で行います。また、接続は機器に合ったDVIケーブルを使用してください。

#### ・DVI入力時、無入力や誤動作(ブルーバック)したときは

ビデオカードの出力設定などの誤りにより、無入力、または誤動作(ブルーバック)することがあります。そのときは両方の電源を一度切り、再投入します。再投入するときは、本機、コンピューターの順番で行います。その後、ビデオボードの設定を正しく行ってください。

#### ・コンピューターの解像度と周波数が、26ページの記載仕様範囲内である。

接続するコンピューターの説明書で、映像信号の解像度と周波数を確認してください。 コンピューターから出力される映像信号の解像度と周波数が、範囲外のものは対応できません。 (範囲外の信号でも表示できることがあります。ただし、鮮明な投写はできない可能性があります。また、範囲内の信号 でも、ビデオボードによっては調整が必要になることがあります。)範囲内であっても、26ページに記載されている以 外の信号を入力したとき、画面の一部が欠けたり、不要な折り返し画面がでることがあります。 入力可能な周波数の範囲内の信号でも、信号の種類によっては正常に投写できないことがあります。 接続機器により複合同期(Cs)信号、G on sync信号には対応しません。

#### ■入力可能な信号の周波数対応表

信号		水平表示解像度	垂直表示解像度	水平走查周波数	垂直走查周波数	
			Hor [Pixels]	Ver [Lines]	H [kHz]	V [Hz]
パ	PC98	VESA350	640	350	37.86	84.13
14	PC/AT	PC98	640	400	24.83	56.42
シ	DOS/V	VGA 60Hz*	640	480	31.47	59.94
糸	DVI*	VGA 72Hz*	640	480	37.86	72.81
		VGA 75Hz*	640	480	37.50	75.00
		VGA 85Hz*	640	480	43.27	85.01
		SVGA 56Hz*	800	600	35.16	56.25
		SVGA 60Hz*	800	600	37.88	60.32
		SVGA 72Hz*	800	600	48.08	72.19
		SVGA 75Hz*	800	600	46.88	75.00
		SVGA 85Hz*	800	600	53.67	85.06
		XGA 43Hz*	1024	768/2	35.52	43.48
		XGA 60Hz*	1024	768	48.36	60.00
		XGA 70Hz*	1024	768	56.48	70.07
		XGA 75Hz*	1024	768	60.02	75.03
		XGA 85Hz*	1024	768	68.68	85.00
		SXGA 43Hz*	1280	1024/2	46.43	43.44
		SXGA 60Hz*	1280	1024	63.98	60.02
		SXGA 75Hz*	1280	1024	79.98	75.03
		SXGA 85Hz	1280	1024	91.15	85.02
		UXGA 60Hz	1600	1200	75.00	60.00
	Mac	MAC13	640	480	35.00	66.67
		MAC16	832	624	49.73	74.55
		MAC19	1024	768	60.24	74.93
		MAC21	1152	870	68.68	75.06
Ľ	Video	HDTV (1035i) 60Hz			33.75	60.00
「デ」		HDTV (1035i) 59Hz			33.72	59.94
系		480p	720	483	31.47	59.94
		720p 60Hz	1280	720	45.00	60.00
		720p 59Hz	1280	720	44.96	59.94
		1080i 60Hz	1920	1080/2	33.75	60.00
		1080i 59Hz	1920	1080/2	33.72	59.94
		1080 24sF	1920	1080	27.00	24.00
		NTSC			15.734	60
		PAL			15.625	50
		SECAM			15.625	50

• 上記の解像度は、入力信号の解像度を表わしています。

• 入力可能な周波数範囲内の信号でも、信号の種類によっては正常に映らないことがあります。

• 上記以外の信号を入力したとき、画面の一部が欠けたり、不要な折り返し画面がでることがあります。

- 上記以外の信号でも表示できることがありますが、調整が必要なことがあります。
- 上記の信号でも、ビデオボードなどによっては、調整が必要なことがあります。
- 接続機器により、複合同期(Cs)、G on sync信号には対応しません。
- パソコン系のVGA信号は、ビデオ系の480pモードで表示されることがあります。 (このときはビデオ系入力選択時のメニュー階層と構成になります。)
- \*: DVI入力可能信号(Vシンク85Hzは対応しておりません。)

#### 接続を始める前に、必ずプロジェクターと接続する機器の電源を切ってください。

#### ■ ビデオ機器との接続・

- 接続するビデオ機器の説明書をよくお読みください。
- ・付属の映像接続ケーブルを使います。S映像ケーブルやBNCケーブルは付属しておりません。
   S映像ケーブルは付属のフェライトコアに1回巻き付けて使用できる太さのものをご使用ください。



#### ■DVI端子をもつ機器との接続 -

- 接続する映像機器の説明書をよくお読みください。
- 接続機器により接続するケーブルを準備してください。



#### ■外部機器からコントロールする -

コンピューター機器を本機のCONTROL IN端子に接続して、本機をコントロールすることができます。
 また、赤外線リモコン受光部延長ユニットなどを制作して、本機のREMOTE端子に接続できます。
 ※必要に応じて接続用のケーブルをお求めください。
 ※詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



準備

#### ■コンピューター機器との接続 ·

- 接続するコンピューター機器の説明書をよくお読みください。
- 付属のパソコン接続ケーブルを使います。また、接続機器により接続するケーブルを準備してください。



### 電源コード(付属)の接続

機器の接続が済んだらプロジェクターの電源コードを接続します。 電源コードの接続が済むまで、本機のMAIN POWER(主電源)スイッチを入れないでください。



1本体の電源入力(AC IN~)端子に付属の電源コードを接続する。

2 付属の電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込む。

### 火災・感電防止の注意

- 本機は電源の容量が大きいため、壁のコンセントへ直接接続してください。
  - 機器を使用しないときは、機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 付属の電源コード以外で接続しないでください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ 張ったりすると電源コードが破損します。
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。



### ■ 使用するとき:

- ・レンズキャップをはずします。
  - \* 使用しないときは、レンズの汚れ防止のためにレンズキャップをつけ てください。(レンズキャップは、取り付けた別売のレンズに付属のも のを使います。)
  - \* レンズキャップをつけたまま、投写しないでください。熱でレンズ キャップが変形することがあります。また、金属製のレンズキャップの ときは熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

# 基本設定

# ランプコントロール設定

本機をお買い上げ後に操作する最初と、光源ランプ交換後のランプ積算時間のリセットを行ったときには、このランプコント ロール設定を行い、光源ランプの投写設定をしてください。 このランプコントロールの設定は、「ノーマル」、「LPC」、「LOC」の3種類から設定します。 お買い上げ時の設定は「ノーマル」に設定されています。





# 5 カーソル(▲/▼)を押して、ランプコントロールの設定を 選ぶ。

ランプコントロールの設定は、次の3つから選ぶことができます。 お使いになる環境に合わせて選んでください。

- ノーマル :お買い上げ時の設定で、光源ランプの照度をコントロール せずにそのまま使用する設定です。 ランプ交換の警告は1000hを経過すると表示されます。
- LPC :ランプにかかる電力を自動的に制御し、段階的に上げる設定です。この設定を使ったときは、約7割程度の明るさになります。ノーマルの設定に比べて照度低下がゆるやかで、長時間の連続使用に最適です。ランプ交換の警告は2000hを経過すると表示されます。

LPCとはLight Power Control modeの略です。

LOC: :任意の照度(設定は-6から0までの7段階)に設定できます。段階的に照度を設定できるため、マルチ画面などの調整に最適なモードです。

この設定は、お使いになっているあいだも変更することができます。

設定を変更するには、カーソル(▲/▼)でLOCを選んで、カー ソル(◀/►)で数値を選びます。

ランプ交換の警告は2000hを経過すると表示されます。 LOCとはLight Output Control modeの略です。

# 6 調整が終わったら、EXITを押す。

押すたびに、ひとつ前のメニュー画面に戻ります。

#### 調整がすべて終わったら

MENUを押します。画面からメニューが消えます。

#### ランプ使用時間と設定について

- ランプ交換時期は、あくまでも各モードを最 初から使用したときにあてはまる目安であ り、2000時間を保証するものではありま せん。
- L P C およびL O C のランプ交換時間 (2000h)は、各モードを最初から使用した ときにあてはまる目安であり、2000時間 を保証するものではありません。
- ノーマルの連続投写状態で1000hを超え、 2010h未満のときは連続投写状態のままで あれば(電源を切ったり、スタンバイ状態にし なければ)2010hまで使用することができ ます。ただし、1000hを超えたときに電源を 切ったり、スタンバイ状態にすると、ランプ 寿命により再度投写できなくなります。
- LPCおよびLOCの連続投写状態で2000h を超え、2010h未満のときは連続投写状態 のままであれば(電源を切ったり、スタンバ イ状態にしなければ)2010hまで使用する ことができます。ただし、2000hを超えた ときに電源を切ったり、スタンバイ状態にす ると、ランプ寿命により再度投写できなくな ります。
- LPCおよびLOCで、1000h以上使ったあ とで、ノーマルに設定を切り換え、電源を 切ったりスタンバイ状態にするとランプ寿 命により再度投写できなくなります。
- ランプ照度は、どの設定を選んでいても落ちていきます。使用環境によっては寿命よりも早く照度が落ちることがあります。このようなときは、交換時間前でもランプを交換することをお勧めします。

基本操作

まだ本機の設定が終了していないときは、電源を入れたのち「メニューで行う調整と設定」(参照ページ:40)をご覧になり、必要な設定を先に行ってください。









# 基本操作(つづき)



S:

S

スクリーンサイズ

4:3





スクリーンに表示されるメニューで本機の調整や設定を行います。

#### メニューの階層と構成

本機のメニューは次のような構成になっています。









7 手順2から6をくり返し、他の項目も調整します。

調整がすべて終わったら

MENUを押します。画面からメニューが消えます。

操作

### メニューの内容

表中の各項目の[]内の数値は、お買い上げ時の設定値です。



ビデオ系入力

パソコン系入力

ENTERまたはカーソル(ト)を押すと、サブメニューへ移行で きます。

メインメニューの右側には、現在選ばれているサブメニューの 内容が表示されます。

●ビデオ系入力選択中とパソコン系入力選択中では表示項目 が異なります。

●「インフォーメション」を選ぶと、メニュー右側に現在選択中 のビデオ入力などの情報が表示されます。サブメニューへは 移動できません。(詳しくは、48ページの「メインメニュー: インフォーメション画面 をご覧ください。)

#### 2 画質調整メニュー

画質の調整をします。

画質調整メニューでは次の項目が調節できます。

●ビデオ系入力選択中とパソコン系入力選択中では表示項目 が異なります。



ビデオ系入力

#### ビデオ入力選択時

<b>項目(▼/▲</b> で選択)	<b>調整の内容</b> (◀/▶で調整)	
コントラスト	映像のコントラストを調整します。	
	設定値:-30~30	[0]
明るさ	映像の明るさを調整します。	
	設定値:-30~30	[0]
色のこさ	映像の色の濃さを調整します。	
	設定値:-30~30	[0]
色あい	映像の色あいを調整します。	
	設定値:-30~30	[0]
シャープネス	映像の輪郭を調整します。	
	設定値:-5~5	[0]
オールリセット	画質調整の設定をお買い上げ時の設?	定に戻
	します → ENTERを押して、オール	リセッ
	ト確認画面(⑦)へ	

#### パソコン入力選択時

<b>項目(▼/▲</b> で選択)	<b>調整の内容(</b> ▶で調整)</th <th></th>	
コントラスト	映像のコントラストを調整します。	
	設定値:-30~30	[0]
明るさ	映像の明るさを調整します。	
	設定値:-30~30	[0]
シャープネス*	文字などの輪郭を調整します。	
	設定値:1、2、3、4、5	[3]
オールリセット	画質調整の設定をお買い上げ時の調	定に戻
	します → ENTERを押して、オール	ノリセッ
	ト確認画面(⑦)へ	

\* 設定メニュー(国)の項目、リサイズで[1:1]を選択しているとき は、働きません。

#### 3 設定メニュー

映像のトラッキングやポジションの基本の設定をします。

- ●設定メニューは2ページ(設定1/設定2)あります。
- ●ビデオ系入力選択中とパソコン系入力選択中では表示項目 が異なります。特にビデオ系入力では、選んでいる入力信号 によって表示される画面が異なります。
- ●設定メニューの次ページ(設定2)や前ページ(設定1)に移動 するには

「設定2|(次ページ)または「設定1」(前ページ)を選び、 ENTERを押します。

### ビデオ入力選択時



#### **項目(▼/**▲で選択) 調整の内容(</▶で調整)

ポジション	映像とメニューの表示位置を調整します。
	→ ENTERを押して、ポジション設定画面
	$\sim$ (8)
トーン	映像に適した「濃淡や明暗」を設定します。通

常のテレビ番組をご覧になるときは「TV」、 映画などをご覧になるときは「シネマ」を選 びます。お買い上げ時は「ノーマル」に設定さ れています。 設定値:ノーマル、TV、シネマ [ノーマル]

アスペクト比 投写する映像の縦横比を選びます。従来のテ レビ映像の入力時は「4:3」、ハイビジョン映 像などの入力時は[16:9]を選びます。

	設定値	:4:3、16:9		[4:3]
カラー方式	カラー	方式を設定し	ます。→ ENT	 ERを押
	して、ナ	カラー方式設定	三画面(9)へ	
トラッキング	映像の	横方向のサイ	ズと表示領域な	を調整し
	ます。(	通常は設定す	る必要はありま	ません。)
	設定値	:-128~12	?7[信号により	)異なる]
フィルム	フィル	ム撮影された	映画などをご	覧になる
	ときに	設定します。		
	AUTO	: ふだんはこ	の設定にしま	す。
	ON	: AUTOで画	ī像の動きがち	らつき、
		不安定な場	合に切り換える	ます。
	OFF	:フィルム撮	影された映画な	よどをご
		覧にならな	いときに設定	します。
	設定値	*: OFF、ON、A	AUTO	[AUTO]
フェーズ	映像の	ちらつきやぼ	やけを調整しる	ます。
	(通常は	は設定する必要	夏はありません	,,)
	設定値	:0~31	[信号により	)異なる]
スクリーン	映像を	投写するスク	リーンサイズを	₹.[4:3]
	または	「16:9」に切り	)換えます。スク	クリーン
	のサイ	ズ全体(最大)	こ映像が映る。	ように調
	整・設置	<b>置します。投写</b>	するスクリーン	ンのアス
	ペクト	比(4:3または	16:9)設定を変	変えても
	スクリ	ーンのサイズ	内に映像を映る	すことが
	できま	す。		
	r	4:3の映像	16:90	映像
スクリーン	サイズ			
「4:31設定の	のとき		→	
		(初期設定時)	(アスペクト比	(変更時)
		16:9の映像	4:3の	央像
スクリーンサ	ナイズ		<b>_</b>	
16:9]設定の	のとき			
	Ľ	(初期設定時)	(アスペクト比	(変更時)
	設定値	:4:3、16:9		[4:3]
HDTV	HDTV	の信号を正確が	ま16:9のアス	ペクト比
· · • •	で表示	するために正し	し、数値を設定	します。
	1080	i:ふだんはこ	の設定にしま	ਰ_
	1035	i:1080iで	国像が不安定な	よ場合に
		切り換えま	す。	
	設定値	:1080i,1C	)35i [	1080i]

\* この機能はインターレース信号のみに働きます。IP変換、フィルムから の画像についてはプルダウン変換し、ちらつきや粗さを抑えます。ハイ ビジョン信号などには働きません。 パソコン入力選択時

設定		
トラッキング	123	
フェーズ	12	
ポジション	ENTER	
リサイズ 01	:10パネル	◎アスペクト
クランプ О	ST	⊙ BP
アナロ	グ入力	
<sup>クランプ の</sup> アナロ	<sup>ST</sup> グ入力	© BP



デジタル入力

<b>項目</b> (▼/▲で選抜	R) <b>調整の内容</b>	(◀/▶で調整	()	
トラッキング	映像の横方向	]のサイズと	″ :表示領域を調整	 をしま
	す。(通常は影	定する必要	<b>ミはありません。</b>	)
	設定値:-12	28~127	[信号により異	なる]
フェーズ	映像のちらこ	っきやぼやけ	を調整します。	(通常
	は設定する必	《要はありま	きせん。)	
	設定値:0~3	31	[信号により異	なる]
ポジション	映像とメニュ	ーの表示位	置を調整します	す。
	→ ENTERを	押して、ポ	ジション設定画	面
	$(8) \land$			
リサイズ	1:1 :	入力された	解像度をそのま	Fま表
		示します。		
	パネル :	入力された	:解像度が136	5 x
		1024ドッ	・ト以下のとき、	D-
		ILA素子の	画素数のほぼフ	ッルサ
		イズスクリ	ーン(1365 x	
		1024ドッ	・ト)に拡大して	表示
		します。	四次古るしナー	-
	アスペクト:	人力された	解像度の比率の	Č
		1365 x 1	024ドット内	で最
		大に表示し	っより。(画面の)	促と
		横のとらら	かか最大になる	った
		とさ、その	北率 ぐもう一方	か決
	=九(古*・1・1	まりまり。, パラル マ		
	設上1111	、八不刀、ゲ	スハクト 「フフ ペ	·/
·				
クランプ	バソコンやワ	リークステー	-ションなどの、	■面
	か喧くなつた ときに切り地	_リ、明るく, §えてみてく	ゅうたり、小女え 「ださい	E/A
	クランプパル	えの位置な	・バックポーチ(	BP)
	かシンクチッ	ップ(ST)に	設定します。通常	, 常は、
	BPで使いま	す。		
	設定値:ST、E	3P		[BP]

#### 4 色温度メニュー

投写している映像の色温度を調整します。色温度とは、映像の 赤みや、青みのことで、色温度が高いほど映像の青みが強くな ります。映像の本来白色の部分を投写しながら、より白く見え る色温度を選びます。

またゲイン調整は、選んだ色温度に対してR(赤)、G(緑)、B(青) を調整することができます。



項目(▼/▲で選択)	<b>調整の内</b> 容(◀/▶で詞	調整)	
色温度	通常は「Middle」に	しておきます。	
	LOW]を選いて、映	はない示つはくなり、	
	High]を選ぶと、青	肓っぱくなります。	
	設定值:Low、Midd	lle.High [Middle	Э]
RED	選択した色温度の認	殳定のうち、赤を調整 L	,
	ます。		
	設定値:0~255	[オールリセット実行値	直]
GREEN	選択した色温度の認	殳定のうち、緑を調整 L	<u> </u>
	ます。		
	設定値:0~255	[オールリセット実行値	直]
BLUE	選択した色温度の調	殳定のうち、青を調整 L	<i>,</i>
	ます。		
	設定値:0~255	[オールリセット実行値	直]
オールリセット	色温度の設定をお買	買い上げ時の設定に戻	_
	します。		
	→ ENTERを押して	て、オールリセット確認	J
	画面(7)へ		

### 5 オプションメニュー

オプションメニューでは次の項目が調整できます。 ●オプションメニューは2ページ(オプション1/オプション2) あります。

オプション 1	オプション 2
メニュー表示   ◎15sec OON	左右反転   ◎OFF OON
ライン表示 ◎ 5sec OOFF	上下反転   ◎OFF  OON
ランプ使用時間表示  ◎ON OOFF	RS-232C [bps] O9600 @19200
キーストーン ENTER	スリープタイム [min] O15 O30 O60 ⊚0FF
ランプコントロール ENTER	オプション1 ENTER
オプション2 ENTER	

項目(▼/▲で選択)調整	<b>整の内容(◀/▶</b> で調整)	
メニュー表示	メニューの表示を15秒経過後	こ自動的に消
	すかどうかの設定をします。	
	設定値:15sec、ON	[15sec]
ライン表示	入力切り換え時などに、入力表	示を5秒間す
	るかしないかの設定をします。	
	設定値:5sec、OFF	[5sec]
ランプ使用時間表示	LOCおよびLPC設定時に、ラン	プ積算時間が
	1000時間になったときに表示	されるランプ
	交換を促す表示の設定です。設	定がONのと
	きは画面に警告を表示し、OFFG	のしきは警告
	を表示しません。	
	設定値:ON、OFF	[ON]
キーストーン	映像の台形歪みを調整します。	
	→ ENTERを押して、キースト・	ーン設定画面
	(10) へ	
ランプコントロール	ランプ時間設定を行います。	
	→ ENTERを押して、ランプコン	トロール設定
	画面(11)へ	
左右反転	映像の左右を反転します。	
	設定値:ON、OFF	[OFF]
上下反転	映像の上下を反転します。	
	設定値:ON、OFF	[OFF]
RS-232C[bps]	RS-232C端子を使って、コン	ピューターと
	通信するときの通信速度(信号転	送スピード)
	を設定します。お使いになるコ	ンピューター
	を同じ速度に設定してください	۱°
	設定値:9600、19200	[19200]
スリープタイム[mir	i]	
	入力信号がないときに自動的に	スタンドバイ
	状態になるスリープタイムの時	뒘(単位:分)
	を設定します。	
	設定値:15、30、60、OFF	[OFF]

 ●オプションメニューの次ページ(オプション2)や前ページ(オ プション1)に移動するには

「オプション2」(次ページ)または「オプション1」(前ページ)を 選び、ENTERを押します。

#### 6 言語メニュー

このメニュー画面では、カーソル(▼/▲)を押して、表示される メニューの表示言語を設定します。



- 設定値:日本語、English(英語)、Deutsch(ドイツ語)、Español (スペイン語)、Italiano(イタリア語)、Français(フラン ス語) [日本語]
- \* 一部の言語や固有名詞など(VIDEO, NTSC, Quick Alignmentなど)は英語でしか表示されません。

#### ⑦ オールリセット確認画面

カーソル(◀/▶)を押して、「Yes」を選んでから、ENTERを押 すと、お買い上げ時の設定に戻します。画質調整と色温度の オールリセット画面があります。



●「No」を選び、ENTERを押すと、オールリセットを中止します。

#### ⑧ ポジション設定画面

この画面では、まずENTERを押して、「表示位置」か「メニュー」 を選びます。(「表示位置」:映像の表示位置を設定するとき、「メ ニュー」:メニューの表示位置を設定するとき)

次に、カーソル(▼/▲/▲/►)を押して、映像表示位置またはメ ニュー表示位置を調整します。



設定値:

表示位置(垂直値:-30~30/水平値:-30~30) [信号により異なる]

メニュー(垂直値:上中下の3段/水平値:左中右の3段) [0/中]

#### 9 カラー方式設定画面

カーソル(▼/▲)を押して、映像信号のカラー方式を設定します。

通常は「AUTO」に設定します。

「AUTO」が機能しない、など不具合がでるときに、再生する ソフトに合わせて、カラー方式を選びます。



設定値: AUTO、NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM [AUTO]

#### 10 キーストーン設定画面

カーソル(◀/▶)を押して、映像の台形歪みを補正します。 設定値: -80~120 [0] キーストーン設定画面表示中にPRESETボタンを押すと、お 買い上げ時の設定「0」に戻ります。



#### 11 ランプコントロール設定画面

お買い上げ時の最初と、ランプ交換時のランプ積算時間リ セット後に行うランプ寿命設定です。使用途中からの設定変更 はできません。



項目(▼/▲で選択)	<b>調整の内容(</b> ◀/▶で調整)
ノーマル	お買い上げ時の設定で、従来と同じ1000時間表
	命の設定です。
LPC	ランプの照度を一定の明るさになるよう自動調
	節しながら、1000時間寿命のランプを2000時
	間まで使える設定です。
LOC	任意の照度(設定は-6から0までの7段階)に該
	定できます。段階的に照度を設定できるため、
	マルチ画面などの調整に最適なモードです。
	この設定は、お使いになっているあいだも変更
	することができます。
	設定を変更するには、カーソル(▲/▼)でLOCを
	選んで、カーソル(◀/▶)で数値を選びます。
	LPCと同様2000時間まで使用できる設定に
	なっています。
	設定値:-6~0 [-6

#### 12 メインメニュー:インフォメーション画面

メインメニューの「インフォメーション」を選ぶと、メニュー右 側に現在選択中の映像入力などの情報が表示されます。 また、入力信号がないときにメニューボタンを押すと、無信号 時メインメニューが表示されます。

#### ビデオ入力選択時



項目(▼/▲で選択)	<b>調整の内容(</b> ◀/▶で調整)
入力	投写中の映像入力(VIDEO、Y/C、COMP)を表示
	します。
スイッチャー	本機の仕様に合致したスイッチャーと組み合わ
	せたとき、スイッチャーの選択No.を表示します。
	0: 未使用、1-10: スイッチャーのNo.に対応
	詳細については、お買い上げの販売店またはビク
	ターサービス窓口にお問い合わせください。
ソース	現在入力されている映像端子名が表示されます。
ランプ時間	光源ランプを使用した累積時間を表示します。

### パソコン入力選択時

/メニュー		
画質調整	入力	PC 1
設定	スイッチャー	CH.O
色温度	解像度 12	80 x 1024
オプション	水平周波数	79.9kHz
言語	垂直周波数	75 Hz
インフォメーション 🕨	ランプ時間	123 h

<b>項目(▼/▲</b> で選択)	調整の内容(◀/▶で調整)
入力	投写中のパソコン入力(PC 1、PC 2、DVI)を表
	示します。
スイッチャー	本機の仕様に合致したスイッチャーと組み合わ
	せたとき、スイッチャーの選択No.を表示します。
	0: 未使用、1-10: スイッチャーのNo.に対応
	詳細については、お買い上げの販売店またはビク
	ターサービス窓口にお問い合わせください。
解像度	入力信号の解像度を表示します。(水平 x 垂直)
	* 一部の入力信号では、正しく表示されない場合
	があります。
水平周波数	入力信号の水平周波数を表示します。
垂直周波数	入力信号の垂直周波数を表示します。
ランプ時間	光源ランプを使用した累積時間を表示します。

#### 12 無信号時メインメニュー

選ばれている入力端子に入力信号がないとき、メニューボタン を押すと表示されます。このメニューで無信号時に左右反転、 上下反転などの操作が行えます。

表示される内容はオプションメニューの一部項目と、言語メ ニュー、インフォメーション画面で、設定変更や確認などの操 作を行うことができます。項目については、それぞれの項目の 説明をご覧ください。また、このメニュー表示時のみ設定とし て以下の2つが変更・表示できます。

#### 項目(▼/▲で選択) 調整の内容(◀/▶で調整)

シンクレベル	入力した映像信号は、自動的に同期がとれるよ
	う調節されますが、この設定を変更することで
	の同期のかけかたを変更します。
	設定はLow、ノーマル、highから選ぶことがで
	き、ノーマル(お買い上げ時の設定)に対してLow
	は「より弱く」、Highは「より強く」なります。
	設定値:Low、ノーマル、High [ノーマル]

**シンクタイミング**現在の同期タイミングを表示します。



# ヒューズ交換のしかた

## 本機の電源保護用にヒューズがあります。切れたら交換してください。

MAIN POWER(主電源)スイッチを投入しても、電源が入らなかったらヒューズを確認してください。 ヒューズを交換するときには、12A 250Vの同じヒューズをお求めください。また、ご不明の点がありましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



5 ヒューズホルダーを本体に取りつける。

お手入れ

# 光源ランプとランプ使用時間について

光源ランプには寿命があります。本機に使用しているランプの寿命は約1000時間です。

ランプコントロール設定で「ノーマル」を設定しているときには1000時間、「LPC」または「LOC」を設定しているときは 1000時間のランプを2000時間まで使うことができます。

[平均ランプ寿命:1000時間(輝度半減値)]

光源ランプは寿命に近づくと、その劣化は急激になります。900時間(ノーマル設定時)または1900時間(LPCまたはLOC設定)を超えたら新しいランプ(ランプユニット)を準備するか、交換してください。また、使用条件によっては交換時期が早くなることがあります。明るさや色合いなどを調整しても映像が暗く色合いがおかしい場合は、早めにランプを交換してください。なお、現在のランプ使用時間を確認できます。メニューの項目「インフォメーション」で「ランプ時間」をご覧ください。(参照ページ:46)

#### 交換ランプユニットの購入は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。 交換ランプ(ランプユニット)品番: BHL 5001-S

ランプ使用時間900時間(ノーマル設定時)または1000時間(LPCまたはLOC設定時)以降の投写について

- ランプ使用時間が900時間(ノーマル設定時)になると:
   LAMPインジケーターが点灯します。
- ランプ使用時間1000時間(LCPまたはLOC設定時)になると: 投写画面に、「1000h」と「ランプ交換」が表示されます。 表示の設定についてはメニュー項目の説明「ランプ使用時間表示」(参照ページ:46)をご覧ください。
- ランプ使用時間が900時間(ノーマル設定時)または1900時間(LPCまたはLOC設定時)を超えた後、投写を開始すると: 投写画面に、「ランプ交換」と表示されます。 \*何れかのボタンを押すと表示は消えます。
- ランプ使用時間が1000時間(ノーマル設定時)または2000時間(LPCまたはLOC設定時)を超えると: LAMPインジケーターが点滅します。 投写画面に、「警告」と「ランプ交換」のメッセージが表示され、「警告」の文字が点滅します。 \*表示を消したいときは、EXITボタンを押します。 但し、1時間経過すると、再び、「警告」と「ランプ交換」が表示されます。
- \* ランプ使用時間が1000時間を超えて2010時間未満では、1度、スタンバイ状態にしたり、電源を切ったりしたときは、投写状態にする ことができなくなります。新しいランプ(ランプユニット)に交換し、ランプ時間をリセット(参照ページ:52)してください。
- ランプ使用時間が2010時間になると:
   強制的に投写状態(動作状態)を解除します。
   LAMPとOPERATEインジケーターが点滅します。
   \* 新しいランプ(ランプユニット)に交換し、ランプ時間をリセット(参照ページ: 52)しない限り、投写状態(動作状態)にすることはできません。

# ランプ交換作業について

- ●本体が作業しにくい場所に設置されている場合は、そのままの状態で交換作業をおこなうと、けがの原因となります。作業をするのに十分な広さのある場所に本体を移してから、交換してください。
- ランプユニットは純正品をご使用ください。純正品以外のものを使用すると故障の原因となります。また、使用済みの古いランプユニット は絶対に使用しないでください。古いランプユニットを使用すると性能が著しく低下したり、ランプが破裂したりして、機器の故障やけがの 原因となります。
- ランプユニットの交換は、本機の使用直後には行わないでください。ランプユニットが高温になっていて、やけどの原因となります。必ず一時間以上の冷却時間をおいてから交換作業を行ってください。
- ランプユニットの交換作業を行うときは、MAIN POWER(主電源)スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを差しこんだまま作業をすると、けがや感電の原因となります。
- 交換した古いランプ(使用済みランプ)は、必ず産業廃棄物として廃棄してください。大変危険です。ランプの内部にはガスが入っていて、高い圧力がかかっています。ガス抜きをしないと爆発が発生する原因にもなります。 使用済みランプの処理については、新しく購入した交換ランプに添付の説明書をよくお読みください。ガス抜き処理がわからないとき は交換ランプをお買い上げの販売店やビクターサービス窓口にお問い合わせください。

# ランプ交換の手順

# 1 ネジをゆるめランプ交換ロカバーをはずす。

ネジ(2本)をマイナスドライバーなどでゆるめる。





ランプユニットのネジをゆるめ、取っ手を引き起こし(①)、ランプユニットを引き出す
 (2)。

ネジ(2本)をマイナスドライバーなどでゆるめる。



**3**新しいランプユニットを奥まで挿入し(③)、 取手を収納後(④)、ネジを締める。

ネジ(2本)をマイナスドライバーなどで締める。

### お知らせ

ランプのガラス面を直接手でさわって汚さないでくだ さい。素手でさわると手の汚れがつき、ランプの寿命が 短くなったり、画面が暗くなるなど性能が著しく低下し ます。また、ランプが破裂して、故障の原因にもなりま す。新しいランプはプラスチック部分を持ってくださ い。金属部分や前面のガラス部分は絶対にさわらないで ください。



4 ランプ交換ロカバーを取り付け、ネジを締める。

ネジ(2本)をマイナスドライバーなどで締める。

### お知らせ

- ランプ交換ロカバーを取り付けるときは、ランプ交換
   ロカバーの3カ所のツメを本体に差し込んでから、ランプカバー裏側の突起を、本体の穴に合うように取り
   付けてください。
   この突起はスイッチになっていて、正しく取りつけられていないと電源が入りません。
- ランプ交換が終わったら、必ずランプ使用時間のリセット(参照ページ:52)を行ってください。



ように注意する



# ランプ時間のリセット

ランプ(ランプユニット)を交換したら、本体内部のカウンターをリセットしてください。 これによりランプの寿命計算がリセットされて、新しいランプの使用時間が積算できるようになります。 ランプを交換したら、必ずランプ使用時間をリセットしてください。ランプ使用時間の表示が、ノーマル設定時には1000時間、 LCPまたはLOC設定時では2010時間になっていると、ランプ使用時間をリセットしない限り、本機は動作しません(ランプが 点灯しません)。



1 MAIN POWER(主電源)スイッチを入れ、スタンバイ状態 にする。

ON【I】: 主電源が「入(ON)」になり、STAND BYインジケーターが点 灯します。

# 2 プロジェクター本体のボタンを次の手順で操作する。

#### [本体(操作パネル)のボタンで操作]

- \* STAND BYインジケーターとOPERATEインジケーターが交互に約3 秒間点滅し、点滅が終わると内部のカウンターがリセットされ、スタンバ イ状態に戻ります(STAND BYインジケーターが点灯します)。
- \* ボタン操作が遅れたり、間違えたときは、はじめからやり直してください。

#### ランプ使用時間のリセットを確認するには

メインメニューの項目「インフォメーション」の中の「ランプ時間」で確認 できます。(参照ページ: 52)

### リセット作業についての注意



ランプ使用時間は、新しいランプに交換したときにのみ、リセットしてください。使用途中でのリセットは、絶対にしないでください。

交換時間が不明となり、性能が著しく低下したり、ランプが破裂する原因となります。

# フィルターの掃除と交換方法

フィルターは定期的に掃除してください。吸気効率が悪化したりして、故障の原因となることがあります。また汚れがひどく、きれいにならないときや、損傷したときは新しいフィルターに交換してください。内部にゴミが入り画面上にその影が現れるなど、 映像を楽しむことができなくなります。内部にゴミが入った場合はお買い上げの販売店または、お近くのビクターサービス窓口 にご相談ください。

# 1 MAIN POWER(主電源)スイッチを切る。

STAND BYインジケーターが点灯して、スタンバイ状態になってから、MAIN POWER(主電源)スイッチを切り、電源コードを本体およびコンセントから抜いてください。

# 2 フィルターをはずす。

ネジ(1本)を、マイナスドライバーなどでゆるめる。



# **3** フィルターをそうじする。

フィルターを中性洗剤を使って水洗いし、日陰で乾かす。



# 4 フィルターを取り付ける。

ネジ(1本)を、マイナスドライバーなどで締める。



- 中性洗剤を使用するときはゴム手袋を着用してください。
- フィルターを水洗いしたときは、完全に乾いたことを確認してから、取り付けてください。ぬれたまま取り付けると感電や故障の原因となることがあります。
- 掃除機などでフィルターを掃除しないでください。フィル ターは柔軟なために掃除機に吸い込まれたりして、フィル ターを損傷する原因となることがあります。



- フィルターは正しく取り付けてください。
   正しく取り付けないと、本機は動作しなくなります。
   (警告が表示されます。参照ページ:58)
- フィルターのツメを破損したときは本機が作動しなくなることがあります。そのときは新しいフィルターに交換してください。

# **故障かな?と思ったら**(トラブルシューティング)

症状	原因	処  置	参照ページ
電源が入らない	・電源コードが外れていませんか。	<ul> <li>・電源コード(プラグ)をしっかり差しこんで</li> <li>ください。</li> </ul>	31ページ
	・MAIN POWER(主電源)スイッチを入 れましたか。	・MAIN POWER(主電源)スイッチを入れて ください。	34ページ
	<ul> <li>・ヒューズが切れていませんか。</li> </ul>	・MAIN POWER(主電源)スイッチを切り、 ヒューズを確認して、切れていたら新しい ヒューズと交換してください。	49ページ
インジケーター が点灯している	<ul> <li>・ランプ交換ロカバーを正しく閉めましたか。</li> </ul>	・MAIN POWER(主電源)スイッチを切り、ラ ンプ交換ロカバーを正しく閉め、MAIN POWER(主電源)スイッチを入れ直してく ださい。	51ページ
	・フィルターを正しく閉めましたか。	・MAIN POWER(主電源)スイッチを切り、 フィルターを正しく閉め、MAIN POWER (主電源)スイッチを入れ直してください。	53ページ
	<ul> <li>・ランプの寿命が過ぎていませんか。(ラン プ使用時間がノーマル設定時1000時 間、LCPまたはLOC設定時2000時間に 達していませんか。)</li> </ul>	<ul> <li>MAIN POWER(主電源)スイッチを切り、新しいランプ(ランプユニット)に交換し、</li> <li>MAIN POWER(主電源)スイッチを入れ直してください。新しいランプ(ランプユニット)に交換したときはランプ使用時間をリセットしてください。</li> </ul>	52ページ
光が出ない、光	・レンズキャップを外しましたか。	・レンズキャップを外してください。	31ページ
<b>が暗い</b> <ul> <li>・ランプの寿命が近づいていませんか。</li> <li>・メニューでランプ使用時間を確認</li> <li>近いときは新しいランプ(ランプ)</li> <li>準備するか、早めに交換してくだ</li> </ul>			48、50 ページ
電源を入れて作 動するが数分後 に切れてしまう	・吸気口(空気吸い込み口)や排気口をふさ いでいませんか。	・MAIN POWER(主電源)スイッチを切り、ふ さいでいるものを取り除いて、MAIN POWER(主電源)スイッチを入れ直してく ださい。	
映像が出ない	・入力を正しく選んでいますか。	・VIDEO(ビデオ)ボタン、 PC(ピーシー)ボタンで正しい入力を選んで ください。	28、29 ページ
	・接続機器を正しく接続していますか。	・接続機器を正しく接続してください。	27~30ページ
	・接続機器から信号が出ていますか。	・接続機器を正しく設定してください。	
	・接続機器の信号(走査周波数など)は入力 可能な信号ですか。	<ul> <li>入力可能な信号であるか(走査周波数など)を</li> <li>確認し、対応した信号を入力してください。</li> </ul>	25、26 ページ
	・明るさが正しく調整されていますか。	・メニューで明るさを調整してください。	44ページ
	・HIDE(ハイド)ボタンを押して、映像を一 時的に消していませんか。	・HIDE(ハイド)ボタンを押して、映像を再び 出してください。	38ページ
	<ul> <li>・DVI入力時、コンピューターのグビデオ ボード(DVI出力端子)から映像信号が出 力されていますか。(DVI入力時、コン ピューターの設定などにより、無入力ま たは誤動作(ブルーバック)することがあ ります。)</li> </ul>	・プロジェクター本体およびコンピューター 本体の電源をいったん切り、再度プロジェク ター、コンピューターの順番で電源を立ち上 げてください。その後、コンピューター側の ビデオボードの設定を正しく行ってくださ い。	25ページ

#### 修理をご依頼される前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処  置	参照ページ
映像がぼやける	・フォーカスはあっていますか。	・フォーカスを調整してください。	35ページ
	・距離が近すぎていたり、遠すぎていません か。	・正しい距離に設置してください。	21~23 ページ
	<ul> <li>トラッキングとフェーズが正しく調整</li> <li>されていますか。</li> </ul>	<ul> <li>・メニューでトラッキングとフェーズを調整 してください。</li> </ul>	45 ページ
映像が異常に 暗い、明るい	・明るさが正しく調整されていますか。	・メニューで明るさを調整してください。	44ページ
映像の色つきが 悪 い 、乱 れ る	・画質(色のこさなど)は正しく調整され ていますか。	・メニューで画質を調整してください。	44ページ
	・正しいカラー方式を選んでいますか。	<ul> <li>・メニューでカラー方式をAUTOにしてみて ください。</li> <li>・AUTOで安定しないときは、適切なカラー 方式を選んでください。</li> </ul>	47ページ
	・接続機器の信号(走査周波数など)は入 力可能な信号ですか。	<ul> <li>入力可能な信号であるか(走査周波数など)</li> <li>を確認し、対応した信号を入力してください。</li> </ul>	25、26 ページ
映像画面の上部 が曲がる、ゆが む 、と ぎ れ る	・コンピューター系入力時、複合同期(Cs) またはG on sync信号の同期信号を入 力していませんか。	・垂直同期(V)信号と水平同期(H)信号の分 離型の同期信号を入力してください。	25、26 ページ
	<ul> <li>・ビデオデッキなどでジッターの多い信</li> <li>号やスキュー歪みの信号を入力してい</li> <li>ませんか。</li> </ul>	<ul> <li>・ジッターの少ない信号や、スキュー歪みのない信号を入力してください。</li> <li>・TBCまたはTBC内蔵の機器をお使いください。</li> </ul>	
リモコンが働か ない	・乾電池が正しく入っていますか。	・乾電池の極性(+、-)を正しく合わせて入れ てください。	17ページ
	・乾電池が消耗していませんか。	・新しい乾電池に交換してください。	17ページ
	<ul> <li>・リモコンとリモコン受光部との間に遮</li> <li>へい物はありませんか。</li> </ul>	・遮へい物を取り除いてください。	24ページ
	・距離が離れすぎていませんか。	・近づいて送信してください。	24ページ
	<ul> <li>本体のREMOTE端子にケーブルが接続</li> <li>されていませんか。</li> </ul>	・ケーブルを外してください。	

\*本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音やノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときは1度電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、あらためて電源プラグをコンセントに差し込んで、動作を確認してください。(電源の入れかた、切りかたは34、36ページをご覧ください。)

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因(内容)			
PC 1 映像信号が入力されていません	端子に何も接続されていないとき。 端子は接続されているが、信号が無いとき。 * メッセージ上部に現在の入力モード(入力端子)名が表示され ます。 → 映像信号を入力してください。			
PC 1 映像信号の周波数が範囲外です	入力周波数が範囲外のとき。 * メッセージ上部に現在の入力モード(入力端子)名が表示され ます。 → 入力可能な周波数の信号を入力してください。			
PC 1 映像信号が表示できないタイプです	入力周波数が範囲内でも、規格外の信号(解像度など)で判別で きないとき。 * メッセージ上部に現在の入力モード(入力端子)名が表示され ます。 → 入力可能な規格の信号を入力してください。			
FREEZE	フリーズしたとき、またはフリーズ中に操作が禁止されてい るボタンが押されたとき(フリーズ中であることを示すた め)に数秒間表示されます。 → フリーズを解除するときはリモコンのFREEZE(フリーズ) ボタンを押してください。			
	フリーズできない信号(UXGA60Hz、SXGA60Hz)のとき、 FREEZE(フリーズ)ボタンを押すと(フリーズできないことを 示すため)数秒間表示されます。(表示はEXITボタンを押すと消 えます。) → フリーズすることはできません。フリーズ可能な信号でフ リーズしてください。			

お知らせ

● メッセージ表示の言語表示は、メニューの言語 表示の設定に対応しています。お買い上げ時の 設定は「日本語」です。言語表示は6か国語の中か ら選択することができます。(参照ページ:46) 但し、言語表示を変えても、入力モード(PC1、 PC2、Y/C、VIDEO)や各ボタンを示す表示 (FREEZE、D.ZOOM、EXIT)は英語のままで表 示されます。

# こんなメッセージが表示されたら(つづき)

メッセージ	原因(内容)
	デジタルズームができない信号(UXGA60Hz、SXGA60Hz)の とき、DIGITAL ZOOMボタンを押すと数秒間表示されます。(表 示はEXITボタンを押すと消えます。) → デジタルズームすることはできません。
	デジタルズーム可能な信号でデジタルズームしてください。
	ランプコントロール設定のノーマル設定時、ランプ使用時間が 900時間を過ぎてから1000時間に達するまで、電源を入れる たびに、表示されます。
ランプ交換 (EXIT)	<ul> <li>→ 表示はEXITボタンを押すか、何れかのボタンを押すと消えます。</li> <li>新しいランプ(ランプユニット)を準備するか早めに交換してください。(33、50ページも合わせてご覧ください。)</li> </ul>
警告 ラン <i>プ</i> 交換 EXIT	ランプコントロール設定のノーマル設定時、ランプ使用時間が 1000時間を過ぎた時点で「警告」の文字が点滅表示されます。 表示はEXITボタンで消すことができます。但し、表示を消した 後でも、1時間ごとに再び表示されます。 なお、1000時間を過ぎた後、電源を1度切ると、電源を入れるこ とができなくなります。 また、1000時間を過ぎてから連続投写し、1010時間を過ぎる と電源が強制的に切れます。その後は電源を入れることができ なくなります。
	→ 新しいランプ(ランプユニット)に交換し、ランプ使用時間を リセットしてください。(参照ページ:50、52 また、33、50 ページも合わせてご覧ください。)
1000h ランプ交換 (EXIT)	ランプコントロール設定のLPCまたはLOC設定時、ランプ使用 時間が1000時間を過ぎた時点で表示されます。また、この表示 はオプションメニューのランプ使用時間表示を「OFF」に設定す ると表示されません。表示の設定についてはメニュー項目の説 明「ランプ使用時間表示」(参照ページ:46)をご覧ください。
	→ 表示はEXITボタンを押すか、何れかのボタンを押すと消えます。新しいランプ(ランプユニット)を準備するか早めに交換
	換してくたさい。(33、50ページも合わせてご覧くたさい。)
ランプ交換	ランプコントロール設定のLPCまたはLOC設定時、ランプ使用 1900時間を過ぎてから2000時間になるまで表示されます。 表示はEXITボタンで消すことができます。
EXIT	→ 新しいランプ(ランプユニット)に交換し、ランプ使用時間を リセットしてください。(参照ページ: 50、52 また、33、50 ページも合わせてご覧ください。)
警告 ランプ交換 EXIT	ランプコントロール設定のLPCまたはLOC設定時、ランプ使用 2000時間を過ぎた時点で「警告」の文字が点滅表示されます。 表示はEXITボタンで消すことができます。 但し、表示を消した後でも、1時間ごとに再び表示されます。 なお、2000時間を過ぎた後、電源を1度切ると、電源を入れるこ とができなくなります。 また、2000時間を過ぎてから連続投写し、2010時間を過ぎる と電源が強制的に切れます。その後は電源を入れることができ なくなります。
	→ 新しいランプ(ランプユニット)に交換し、ランプ使用時間を リセットしてください。(参照ページ:50、52また、33、50 ページも合わせてご覧ください。)

# ■ インジケーターの警告表示について —

本機の投写中に異常が発生すると、警告モードになり、本体操作部のインジケーター表示の組合わせで異常の内容を表示します。 本機は自動的に投写を中断して約120秒間冷却ファンを回します。

No.		インジケーター			警告内容	
	LAMP	TEMP	STAND BY	OPERATE		
1	点滅		点滅		ランプが点灯せずに投写できなかったとき	
2	点滅			点滅	投写中にランプが消えたとき	
З	点滅	点滅			回路動作が異常なとき(回路動作異常)	
4			点滅	点滅	フィルターカバーが外れているとき	
5		点滅			内部の温度が異常に高くなったとき(内部センサー1異常)	
6		点滅	点滅		内部の温度が異常に高くなったとき(内部センサー2異常)	
7	点滅	点滅	点滅	点滅	内部のファンが停止したとき(ファンロック)	

\*LAMPインジケーター単独の点滅については50ページをご覧ください。

#### ■ 警告表示の対応について ―――

#### 本機を次の手順で操作してください。

No.1~No.3について

- No. 1: ランプ交換ロカバーとフロントパネル(フロントカバー)が正しく(確実に)取り付けられているか確認後、再び投 写をしてみてください。
- No. 2: ランプ交換ロカバーとフロントパネル(フロントカバー)が正しく(確実に)取り付けられているか確認後、再び投 写をしてみてください。
- No. 3: 再び、投写をしてみてください。
- No.4~No.7について

MAIN POWER(主電源)スイッチを切り、コンセントから電源コードを抜いたあとで、それぞれを確認してください。

- No. 4: フィルターカバーを正しく取り付けてください。再び操作通りに立ち上げてください。
- No. 5: 吸気口・排気口をふさぐようなものがないか確認し、内部が冷めるまでしばらくそのままにして置いてください。 その後、再び操作通りに立ち上げてください。
- No. 6: 吸気口・排気口をふさぐようなものがないか確認し、内部が冷めるまでしばらくそのままにして置いてください。 その後、再び操作通りに立ち上げてください。
- No. 7: 内部が冷めるまでしばらくそのままにして置いてください。その後、再び操作通りに立ち上げてください。

それでもまた警告モードになるときは、冷却ファンが停止した後、MAIN POWER(主電源)スイッチを切り、電源コードをコン セントから抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

#### 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売 店名」等の記入をお確かめのうえ、大 切に保管してください。保証期間は、 お買い上げの日から1年間です。た だし、光源ランプについては、6か月 間または600時間のどちらか早い ほうです。

#### 補修用性能部品の最低保有期間

プロジェクターの補修用性能部品の最 低保有期間は製造打切り後8年です。補 修用性能部品とは、その製品の機能を維 持するために必要な部品です。

### 不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な 点は、お買い上げの販売店または別 紙の「ビクターサービス窓口案内」を ご覧のうえ最寄りのご相談窓口にお 問い合わせください。

#### 修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、54から55ページの「故障かな?と思ったら」にしたがって確認してください。それ でも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

#### ■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って販売店が修理させていただ きます。

#### ■ご連絡していただきたい内容

品名	<b>D・ILA</b> プロジェクター			
型名	DLA-G150CL			
お買い上げ日	年月日			
故障の状況	できるだけ具体的に			
ご住所	付近の目印等も合わせて			
お名前				
電話番号	( ) –			
訪問ご希望日				

#### ■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修 理させていただきます。

#### ■修理料金のしくみ



便利メモ	お買い上げの販売店	(	)	_	



■ 型名/品名	 DLA-G150CL/D-ILA プロジェクター		
■ 発光方式			
■ 表示パネル/サイズ	D-ILA素子/0.9型(1365画素 x 1024画素) x 3枚(総画素数:419万3280画素)		
■ 投写レンズ(別売)	GL-M2910 リア投写用電動フォーカス短焦点レンズ (投写比1:1) GL-M2915S 電動フォーカス短焦点レンズ (投写比1.5:1、マニュアル垂直シフト機構付き) GL-M2920Z 電動ズーム・電動フォーカスレンズ (投写比2:1~3:1) GL-M2930SZ 電動ズーム・電動フォーカス長焦点レンズ (投写比2.9:1~5.5:1、マニュア ル垂直シフト機構付き)		
■ 光源ランプ	420 W キセノンランプ		
■ カラー方式	NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM (自動切替/手動切替)		
■解像度	1365ドット x 1024ドット(4:3) 1280ドット x 1024ドット(S-XGAフル解像度) 1600ドット x 1200ドット(U-XGAリサイジング表示)		
■ 走查周波数	水平周波数: 15 kHz~105 kHz 垂直周波数: 50 Hz~100 Hz		
■ 入力端子			
AV IN	Y/C       1系統、ミニ DIN 4ピン x 1         VIDEO       1系統、BNC x 1         Y、P <sub>B</sub> /B-Y、P <sub>R</sub> /R-Y       BNC x 3         DTVフォーマット(Y、P <sub>B</sub> , P <sub>R</sub> )信号         コンポーネント(Y、B-Y、R-Y)信号(色差信号)		
PC 1	1系統、D-sub 3列 15ピン x 1		
PC 2	1系統, BNC x 5		
	R、G、B アナログRGB信号 H/Cs、V 水平同期(H)/複合同期(Cs)信号、垂直同期(V)信号		
DVI	DVI 1系統、DVI-D 3列 24ピン x 1		
CONTROL	RS-232C 1系統、D-sub 9ピン x 1 (外部コントロール) REMOTE IN 1系統、ステレオミニジャック x 1 (リモコン)		
■ 出力端子			
PC OUT	1系統、D-sub 3列 15ピン x 1		
CONTROL	CONTROL OUT 1系統、D-sub 9ピン x 1(外部コントロール)		
■ 使用電源	交流100 V、50 Hz/60 Hz		
■ 定格電流	7.5 A		
■ 使用環境	温度     +5℃~+35℃       湿度     20%~80%(非結露)       (保存温度     -10℃~+60℃)		
■ <b>外形寸法</b> (横幅x高さx奥行)	約 505 mm x 約 265 mm x 約 393 mm (レンズ、突起部除く)		
■ 質量	約 14.6 Kg		
■ 付属品	(8ページをご覧ください。)		

\* D-ILA方式とは、Direct drive Image Light Amplifierの略です。

\* 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

\* このプロジェクターを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。 This projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

\* D-ILA素子は非常に精度の高い技術でつくられており、99.99%の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時 点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

\*写真や図は説明をわかりやすくするために、誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

\*記載の商品(IBM, Macintosh等)は各社の商標、または登録商標です。

\*本機は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

# 外形寸法(レンズ、突起部除く)





ピン配列

■Y/C端子

4	ピン番号	
4 3	1	
	2	
2 1	3	
	4	

ピン番号	信号名
1	GND (Y)
2	GND (C)
3	Y
4	С

# ■PC 1端子/PC OUT端子

	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
10	1	Red	9	N/C
15 9	2	Green	10	GND (SYNC)
14 6 6 4	З	Blue	11	GND
	4	N/C	12	N/C
	5	N/C	13	H.SYNC
7	6	GND (Red)	14	V.SYNC
6	7	GND (Green)	15	N/C
	8	GND (Blue)		

# ■DVI端子

17 9 18 11 0 0 10 2 19 11 0 0 12 3 20 13 0 0 1 12 3 22 15 0 0 14 5 23 15 0 0 14 6 23 15 0 0 14 6 24 0 8
--

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.S.Data2-	10	T.M.D.S.Data1+	19	T.M.D.S.DataO Shield
2	T.M.D.S.Data2+	11	T.M.D.S.Data1 Shield	20	N/C
3	T.M.D.S.Data2 Shield	12	N/C	21	N/C
4	N/C	13	N/C	22	T.M.D.S.Clock Shield
5	N/C	14	+5V Power	23	T.M.D.S.Clock +
6	DDC Clock	15	Ground(for +5V)	24	T.M.D.S.Clock -
7	DDC Data	16	Hot plug Detect		
8	N/C	17	T.M.D.S.Data0-		
9	T.M.D.S.Data1-	18	T.M.D.S.DataO+		

# ■RS-232C端子 \_\_\_\_\_

70

$\sim$	ヒン番号	
6-0-1	1	
	2	
	З	
5	4	
	5	

256

265

	ビン番号	信号名	ビン番号	信号名
-1	1	N/C	6	N/C
-2 -3	2	RD	7	N/C
-4	3	TD	8	N/C
-5	4	N/C	9	N/C
	5	GND		

その他

#### ■ RS-232C 外部制御について

コンピューターと本機をRS-232Cリバースケーブル(D-sub 9ピン)で接続すると、コンピューターから本機を制御すること ができます。ここでは制御に必要なコマンド構成と本機が返すデータフォーマットをまとめてあります。 詳しくは、お買い上げの販売店または、お近くのビクターサービス窓口にご相談ください。

#### 1. 通信仕様

本機の通信条件は次のとおりです。

ボーレート	9600/19200 bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

#### 2. コマンド構成

2-1. コマンドデータフォーマット

本機に制御コマンドを送信するときは、次のデータフォーマットで送信してください。

# ヘッダー ID SP コマンド [SP パラメータ] CR

ヘッダー

: データの先頭および種類を表す。

	"!" (21h) : プロジェクターへの指定(コマンド)
	"?" (3Fh): プロジェクターへの問い合わせ(アスキングコマンド)
ID	:"1" 固定
SP	:ID、コマンド、パラメータの区切りを表す。(20h)
CR	:データの終端を表す。(ODh)

\*アスキングの場合、[ ]は不要

#### 2-2. 応答データフォーマット

本機が制御コマンドを実行した結果、コンピューターへ返すデータフォーマットです。

ヘッダー ID SP 正常終了ステータス SP パラメータ	CR
-------------------------------	----

ヘッダー

: データの先頭を表す。

	"@" (40h) : プロジェクターからデータを取得
ID	:"1" 固定
SP	:ID、コマンド、パラメータの区切りを表す。(20h)
正常終了ステータス	:"0" (30h)
CR	:データの終端を表す。(ODh)

#### 2-3. データフォーマットのパラメータ

コマンドデータと応答データに使用されるパラメータは、3種類用意されています。 ①数値を表す ②ON/OFF ③特殊パラメータ

それぞれのパラメータは次のとおりです。

#### 1数値を表す

符号付き2バイト16進数を、4桁(バイト)のキャラクタで表す。 指定可能な範囲は "8000" から "7FFF" まで

#### $\textcircled{2}\mathsf{ON}/\mathsf{OFF}$

POWERやHIDEなどの状態(ON/OFF)を表す。

キャラクタ	hex	意味
"0"	30	OFF
"]"	31	ON

#### ③特殊パラメータ

入力切り換えのパラメータ

キャラクタ	hex	意味
"0"	30	Y/C
"]"	31	VIDEO
"2"	32	COMP
"3"	33	PC1
"4"	34	PC2
"5"	35	DVI

動作モードのパラメータ

キャラクタ	hex	意味
"0000"	30h 30h 30h 30h	スタンバイモード
"0001"	30h 30h 30h 31h	パワーオンモード
"0002"	30h 30h 30h 32h	クールダウンモード
"0004"	30h 30h 30h 34h	ワーニングモード

#### 3. 外部制御コマンド表

***	コマンド	アスキング		データ種別		
		パワーオン	ELSE	数値	ON/OFF	特殊データ
オペレート	UOF	Х	Х	Х	O	Х
HIDE	U00	O	Х	Х	O	Х
左右反転	U17	O	Х	Х	O	Х
上下反転	U18	O	Х	Х	O	Х
キーストーン	U40	O	Х	O	Х	Х
入力	UIA	O	Х	Х	Х	Y/C···
動作モード	Z03	O	0	Х	Х	スタンバ゛イ・・・

キーストーン:数値(FF80 から 0080) 動作モード:アスキングのみ可能



お客様ご相談センター

日本ビクター株式会社

プロジェクション&システムネットワークビジネスユニット 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12 電話(045)441-7314